

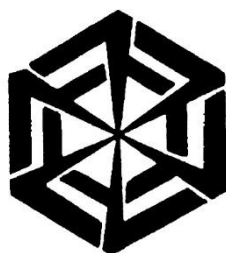
消 防 年 報

2 0 2 4



須 坂 市 消 防 本 部

須坂市の市章



(大正4年11月制定)

須坂市の市章は亀の甲を須坂の「ス」の文字で表わし須坂の歴史と将来への発展を意味する。

須坂市民憲章

美しい自然に恵まれ、輝かしい伝統を受けついできたわたくしたちは、須坂市のかぎらない平和と発展を願い、誇りと責任をもって、ここにこの憲章を定めます。

- 1 清潔で美しいまちをつくります。
- 1 健康で仕事に励みます。
- 1 人間性を尊重し、おたがいに協力します。
- 1 教養を深め、郷土の文化を高めます。
- 1 明るく心豊かな家庭をきずきます。

(昭和49年11月1日制定)

市の木



くますぎ

(昭和49年11月1日制定)

市の花



れんげつつじ

姉妹都市

神奈川県三浦市
新潟県新発田市

(昭和49年4月23日)
(昭和60年6月16日)

友好都市

中華人民共和国吉林省四平市

(平成6年5月12日)

は　じ　め　に

この年報は、須坂市消防本部の 2023 年（度）における消防・救急・救助等の各種統計を収録したもので、広く地域の皆さんにご活用いただき、消防行政に対する一層のご理解を深めていただければ幸いに存じます。

2024 年 10 月

須坂市消防本部

目 次

総 務	1～24
須坂市概要	2
(1) 須坂市沿革	2
(2) 人口等	2
須坂市消防本部概要	3～4
(1) 管内署所配置	3
(2) 消防機関及び受託町村機関の現況等	3
(3) 署所の現況	4
(4) 面積、人口、世帯数	4
須坂市消防沿革	5～12
消防機構図	13
事務分掌	14～17
消防予算	18
所属別・階級別職員配置状況	19
階級別年齢別状況及び階級別勤務年数	20
(1) 階級別年齢別状況	20
(2) 階級別勤務年数状況	20
職員研修及び資格保有状況	21
(1) 消防学校等入校状況	21
(2) 救急救命研修所	21
(3) 職員の資格保有状況	21
消防相互応援協定等の状況	22
歴代須坂市消防長	23
歴代須坂市消防署長	24
予 防	25～42
防火対象物と査察実施状況	26
防火管理者選任状況	27
用途別中高層建築物一覧表	28
届出事務処理状況	29～30
(1) 消防用設備等着工届出	29
(2) 消防用設備等設置届及び検査	29
(3) 各種届出等の受付状況	30
建築同意	31～32
(1) 月別建築同意	31
(2) 過去5年間の建築同意（計画通知含む）	31

(3) 用途別建築同意	32
危険物製造所等累年比較表（完成検査済証交付施設）	33
数量別危険物製造所等及び立入検査実施状況	34
火災発生状況	35
原因別火災状況	36
令和5年火災状況	37
歴年火災発生状況	38～39
広報、職場体験・見学、訓練指導、講習会実施状況	40～42
(1) 広報	40
(2) 職場体験	40
(3) 職場見学	41
(4) 月別自主防災組織、事業場等の防火訓練指導	42

警 防 43～63

消防車両配備状況	44
通信施設状況	45
119番覚知別状況	46
消防水利の状況	47
(1) 水利現況	47
(2) 防火水槽及びその他水利	47
(3) 配水管口径別、分団区域別消火栓設置数及び地上式消火栓設置数	47
水防施設資材等の状況	48～49
(1) 水防倉庫	48
(2) 水防用砂備蓄	48
(3) 水防用資材	49
救急出動	50～61
(1) 事故種別出動状況	50
(2) 過去10年間の人口と救急件数の推移	50
(3) 歴年救急出動状況	51～53
(4) 事故別・年代別搬送人員	54
(5) 救急隊員の応急処置実施状況	55
(6) 医療機関別搬送人員	55
(7) 時間別出動件数	56
(8) 現場到着所要時間別出動件数	57
(9) 病院収容所要時間別搬送人員	58
(10) 発生場所別搬送人員	59
(11) 曜日別救急出動件数	60
(12) 月別救急出動件数	61
救助活動の現況	62

救助器具等	62
応急手当普及に関する講習会実施状況	63

消 防 団 64～78

消防団員状況	65～69
--------------	-------

(1) 分団別定数及び実員	65
(2) 団員報酬	66
(3) 勤続年数別団員数	67
(4) 年齢別、階級別団員数	67
(5) 団員職業形態	68
(6) 団員就業形態	69

消防団装備	70～72
-------------	-------

(1) 小型動力ポンプ各分団配備状況	70～71
(2) 小型動力ポンプ付積載車配備状況	72
(3) 発電機付投光器配備状況	72
(4) デジタルトランシーバー配備状況	72
(5) 救助ボート配備状況	72
(6) 消防団拠点資機材・消防ポンプ付軽自動車	72

機械器具置場・詰所現況	73～74
-------------------	-------

警鐘楼現況	75
-------------	----

消防団員活動	76
--------------	----

(1) 県消防学校入校	76
(2) 団員出動	76
(3) 団員訓練	76

消防団音楽隊	77
--------------	----

(1) 沿革	77
(2) 隊編成	77
(3) 楽器編成	77

歴代須坂市消防団長	78
-----------------	----

総務



2024 年須坂市消防出初式

須 坂 市 概 要

(1) 須坂市沿革

須坂市は長野盆地の東部に位置し、西は千曲川をはさんで長野市に、南は長野市若穂地区と上田市真田地域に、北は上高井郡小布施町に、北から東にかけて上高井郡高山村及び三国山地をもって群馬県妻恋村に接している。

須坂市の地方自治体としての経緯をみると、江戸時代に須坂藩の館町及びその商業集落として成立した須坂村が、明治9年にはじめて須坂町となった。同22年の町村制施行で、小山村のうち穀町組を編入し、大正11年には豊丘村のうち旧小山・坂田村を、また、昭和11年には、日滝・大谷・高橋・相森村からなる日滝村を編入した。そして昭和29年2月11日に日野・豊洲村と合併し、同年4月1日に市制をしき、長野県では第2次世界大戦後初、7番目の市として誕生した。翌年1月1日井上・高甫村を編入し、さらに昭和46年4月30日に東村を編入して現市域を形成するに至っている。

なお、昭和29年以後合併した旧村の経緯は次のようである。明治22年の町村制施行によって、日野村は高梨・塩川・沼目・五閑・八重森・村山の6か村、豊洲村は小河原・小島・相之島の3か村、井上村は井上・米持・幸高・九反田・中島・福島 of 6か村、高甫村は上八町・下八町村からなる八町と野辺・村石村からなる野辺の2か村から成立した。また、東村は昭和30年に仁礼村と豊丘村の合併によって成立した。仁礼村は明治20年に仙仁と、同22年に栃倉・亀倉・米子・塩野の4か村と合併した。豊丘村は明治9年に灰野村と大日向・坂田村が合併して園里村となり、同22年に園里村と坂田・小山村が合併し小山村と称し、同25年に豊丘村と改称した。

須坂市は現在、機械・金属工業を中心とする工業とりんご・ぶどうなどの落葉果樹農業がさかんな生産都市で、令和2年の人口は5万人を割り込んでいる。

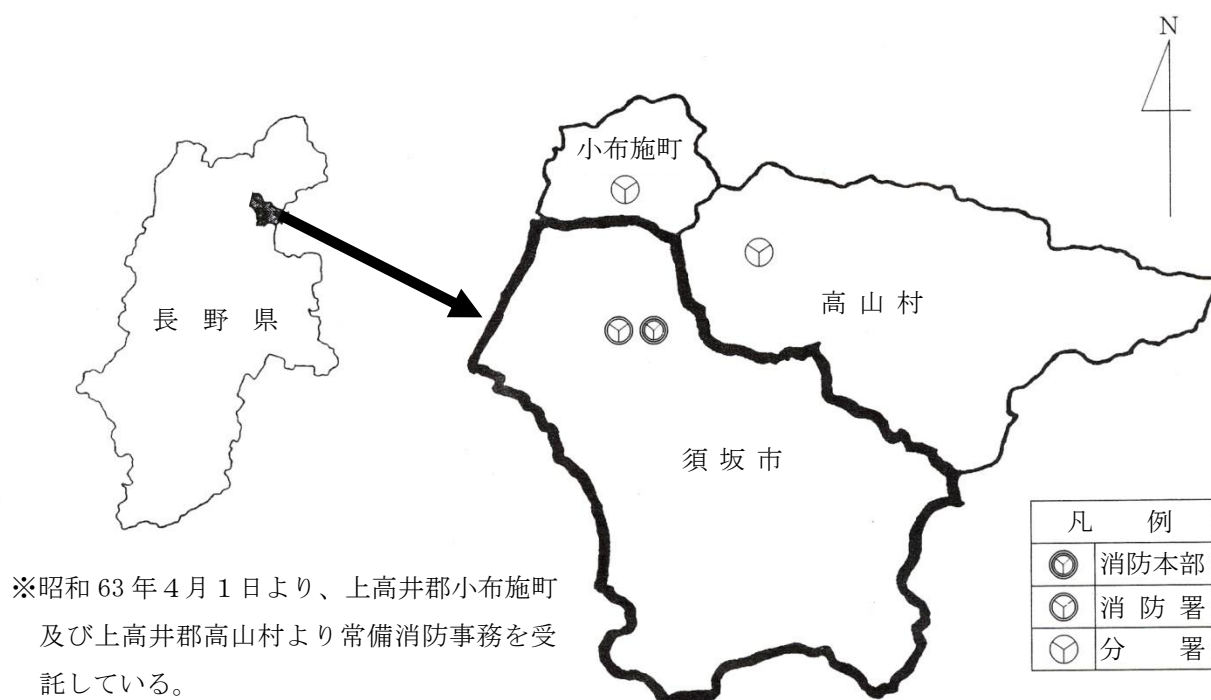
(2) 人口等（須坂市のみ）

構成 年別	世帯数 (世帯)	人 口 (人)			対前回比 人口 (%)	一世帯当たり 人員 (人)
		総 数	男	女		
昭和45年	11,144	45,782	21,985	23,797	103.01	4.11
50年	12,836	49,513	23,941	25,572	108.15	3.86
55年	14,106	52,543	25,484	27,059	106.12	3.72
60年	14,648	53,611	26,083	27,528	102.03	3.66
平成2年	15,346	53,662	26,141	27,521	100.10	3.50
7年	16,336	53,842	26,240	27,602	100.34	3.30
12年	17,323	54,207	26,420	27,787	100.68	3.13
17年	17,863	53,668	26,292	27,376	99.01	3.00
22年	18,106	52,168	25,466	26,702	97.21	2.88
27年	18,447	50,725	24,790	25,935	97.23	2.75
令和2年	18,839	49,559	24,324	25,235	97.70	2.63

(資料) 総務省「国勢調査」

須坂市消防本部概要

(1) 管内署所配置



(2) 消防機関及び受託町村機関の現況等

	郵便番号	所 在 地	電 話	ファクシミリ
須 坂 市 役 所	382-8511	長野県須坂市大字須坂 1528 番地の 1	026-245-1400	026-246-0750
須坂市消防本部 須坂市消防署	382-0094	長野県須坂市大字小山 1306 番地	026-245-0119	026-248-4460
須坂市消防署 小 布 施 分 署	381-0201	長野県上高井郡小布施町大字小布施 1491 番地 2	026-247-5901	026-247-5902
須坂市消防署 高 山 分 署	382-0826	長野県上高井郡高山村大字高井 4609 番地	026-248-0119	026-248-0191
小 布 施 町 役 場	381-0297	長野県上高井郡小布施町大字小布施 1491 番地 2	026-247-3111	026-247-3113
高 山 村 役 場	382-0810	長野県上高井郡高山村大字高井 4972 番地	026-245-1100	026-248-0066

(3) 署所の現況

	敷地面積	建面積	延べ面積	建設年月日
須坂市消防本部 須坂市消防署	6,464.76 m ²	1,305.00 m ²	2,109.96 m ²	平成5年9月9日
小布施分署	264.00 m ²	156.04 m ²	274.69 m ²	昭和53年11月15日
高山分署	772.64 m ²	308.02 m ²	302.02 m ²	昭和62年10月20日

(4) 面積、人口、世帯数

(2024年4月1日現在)

	面積 (k m ²)	東西 (k m)	南北 (k m)	人口(人)			世帯数
				合計	男	女	
須坂市	149.67	16.4	16.7	49,460	24,056	25,404	20,700
小布施町	19.12	5.7	4.8	10,987	5,276	5,711	4,104
高山村	98.56	17.8	10.7	6,485	3,231	3,254	2,473
合計	267.35			66,932	32,563	34,369	27,277

須 坂 市 消 防 沿 革

明治 9 年 9 月	須坂村を須坂町とする
〃 21 年 2 月	私設消防組（組員38人）が、須坂町上町に創設、その後各町に12組順次創設される
〃 22 年	町村制施行で、小山村のうち穀町組を編入
〃 26 年 5 月	13の消防組を連合して、須坂町連合消防組合を設立
〃 27 年 5 月	県告示第 5 号をもって公設須坂消防組（13部定員715人）に改組
〃 32 年 5 月	消防組水防兼掌を命ぜられる
大正 9 年10月	消防組を 4 部に編成し、定員225人に改正
〃 11 年 7 月	豊丘村のうち、旧小山村及び坂田村を編入
〃 11 年10月	須坂・小山・坂田の各消防組を合併して、須坂消防組と改め、6 部編成定員335人とする
昭和11年12月	日滝村（日滝、大谷、高橋、相森）を編入する
〃 12 年 1 月	日滝消防組と合併、7 部に編成し定員410人とする
〃 14 年 4 月	須坂消防組を須坂町警防団に改称、7 個分団、団定員430人とする
〃 16 年12月	警防団の定員500人に改正
〃 22 年 8 月	警防団を廃止して須坂町消防団とし、8 個分団、定員500人で発足
〃 28 年 3 月	日本消防協会から竿頭綬を授与
〃 29 年 1 月	長野県消防協会から昭和28年中無火災で竿頭綬を授与される
〃 29 年 2 月	日野村及び豊洲村を合併（11日）
〃 29 年 4 月	市制施行に伴い須坂市消防団に改称し、19分団、定員815人とする（1 日）
〃 30 年 1 月	井上及び高甫を編入し、30個分団、定員1,300人に改正（1 日）
〃 30 年 4 月	分団の統合整理をし、8 個分団、31部編成とする
〃 30 年	ポンプ操法北信大会で、自動車ポンプの部（2 位）と可搬動力ポンプの部（3 位）で入賞する
〃 32 年 6 月	団員定数1,050人に改正する
〃 33 年 1 月	団員定数915人に改正する
〃 33 年 2 月	日本消防協会から、表彰旗を授与された
〃 37 年 3 月	消防機関（消防本部、消防署、消防団）の設置を決議（10日）
〃 37 年 4 月	消防本部、消防署発足（消防職員17人）、団員定数888人に改正
〃 38 年 3 月	消防庁長官の表彰で竿頭授を授与（消防本部及び消防団連名で）
〃 38 年 4 月	消防職員24人に増員し、三部制勤務を実施
〃 38 年 8 月	消防庁舎竣工（上町18番の 2、事務室2階建延151.25㎡、仮眠室・車庫平屋158㎡）
〃 39 年 7 月	消防本部及び消防署の設置条例制定（3 日）
〃 39 年12月	市庁舎を上町（大字須坂19番地）から東横町（大字須坂1528番地 1）地籍改築し、移転完了
〃 40 年 2 月	須坂市危険物安全協会が設立される
〃 40 年 8 月	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車 1 台が寄贈され、消防署に配置
〃 40 年11月	松代付近を震源とする地震が群発し始める

昭和41年 1 月	松代群発地震対策事業として救急車 1 台を購入し、救急業務を開始する、対象業務は水火災・労災及び交通事故
〃 41年 4 月	松代地震発生
〃 42年 3 月	消防庁長官の表彰で表彰旗を授与
〃 42年 4 月	消防職員31人に増員
〃 43年 4 月	救急業務政令指定を受け、消防法に基づく業務を開始する
〃 44年 1 月	須坂石油共同組合から自動二輪車（ホンダドリーム C B 350） 1 台が寄贈 隣接市町村の小布施町、高山村、東村と救急業務応援協定締結
〃 44年 8 月	グリーンスタンプ(株)から救急車 1 台寄贈（トヨタマスターライン）
〃 44年12月	水槽付消防ポンプ自動車（化学消防兼用車） 1 台を配備
〃 45年 1 月	団員定数756人に改正
〃 46年 4 月	東村合併、12個分団で団員定数991人に改正 東支所の東分遣所設置に伴い、消防職員 34 人となる
〃 46年 6 月	小県郡真田町と消防相互応援協定締結
〃 46年 9 月	上高井危険物安全協会を合併し、須高危険物安全協会と改称
〃 46年11月	須高地区山岳遭難防止対策協会が設立され、事務局を須坂市消防本部に置く
〃 48年 4 月	消防職員定数41人（実員38人）となる
〃 49年 1 月	梯子付消防ポンプ自動車 1 台を配備（日野 T C 342改 A 2 級）
〃 49年 4 月	消防職員実員41人となる
〃 50年 9 月	水槽付消防ポンプ自動車 1 台配備（日野レンジャー A 2 級）
〃 51年 3 月	日本自動車工業会から救急車の寄贈（ニッサンキャラバン）
〃 51年 4 月	消防団の本部分団を廃止し、11個分団、団員定数976人に改正
〃 51年12月	東分遣所を廃止する
〃 55年 4 月	消防職員定数を44人に改正
〃 55年 9 月	消防救助訓練塔設置（鉄骨三柱式）
〃 55年12月	消防庁舎増築、事務室隣接の平屋部分を二階建にし、一階は事務室、厨房、 車庫、二階仮眠室、指令室、会議室ほか（増築面積 1 階＝350. 643㎡ 2 階＝302. 608㎡ 計 653. 251㎡ 既存増築合計 804. 742㎡）
〃 56年 3 月	消防指令車を本部に配置（ニッサンサファリ）
〃 56年 8 月	台風15号により仁礼地区に土石流災害発生する（23日）
〃 56年 9 月	日本消防協会から消防指令広報車（ニッサンブルーバード）寄贈
〃 56年11月	消防団が建設大臣から水防功労表彰を受ける
〃 57年 3 月	消防ポンプ自動車の更新配備（日野 A 2 級・C D II 型）
〃 57年 4 月	消防職員定数を45人に改正
〃 57年 5 月	長野県知事から台風15号の人命救助により防災功労表彰（消防本部及び消防団）を受ける
〃 57年 6 月	消防庁長官から台風15号の防災活動により防災功労表彰（消防本部）を受ける
〃 57年 9 月	内閣総理大臣から台風15号の防災活動により防災功労表彰（消防本部及び消防団）を受ける
〃 58年 3 月	消防無線基地局 1、携帯局11増設
〃 58年12月	消防ポンプ自動車の更新配備（日野レンジャー A 2 級・C D II 型）

昭和59年 3 月	長野県経済連から救急車 1 台寄贈（ニッサンキャラバン 2 B 型）
〃 59年 4 月	長野県救急医療情報システム端末装置を設置
〃 59年 9 月	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車 1 台の寄贈（ニッサンサファリ、A 1 級 B D I 型）
〃 60年 7 月	消防団に音楽隊を結成
〃 62年 3 月	小布施町及び高山村が消防組織法の政令指定を受け、須坂市が消防事務を受託
〃 62年 4 月	消防職員の定数を75人に改正
〃 62年 4 月	須高広域消防運営協議会発足
〃 62年11月	須坂署の水槽付消防ポンプ自動車を更新配備（日野レンジャー A 2 級）
〃 62年11月	須坂消防署小布施分署（9 人）と高山分署（6 人）が、開設準備事務のため、仮発足
〃 63年 4 月	消防署小布施分署（18人）と高山分署（12人）が、正式に発足
〃 63年11月	消防緊急情報指令装置（I 型）を設置
平成元年 8 月	県消防ラッパ吹奏大会（長野市）において、須坂市消防団優勝
〃 2 年 3 月	日本損害保険協会から救急自動車 1 台の寄贈を受け、小布施分署に配備（ニッサンキャラバン 2 B 型）
〃 2 年10月	（株）マツヤからの寄付を充当し、救急自動車（トヨタハイエース 2 B 型）を更新配備
〃 3 年 3 月	須高地区山岳遭難防止対策協会の事務局を、須坂市経済部商工観光課へ移行
〃 3 年 7 月	林野火災の防止及び初期消火用水の確保を目的とした標識、貯水ポリタンクを亀倉地籍林道水の入線及び井上町大城跡周辺遊歩道へ設置
〃 4 年 3 月	救急救命士法に伴う救急本科第Ⅱ部教育実施に伴い、職員 2 人入校
〃 4 年 4 月	消防職員定数を81人に改正
〃 4 年 7 月	日本消防協会から指令車 1 台の寄贈を受け須坂署に配備（ニッサン A D バン）
〃 4 年 9 月	消防庁舎新築移転工事着工
〃 5 年 1 月	高速道対応のため須坂署の救急車を更新配備（トヨタハイエース 2 B 型）
〃 5 年 3 月	須坂署に（株）ショーシンから高規格救急車 1 台寄贈（トヨタハイメディック）
〃 5 年 8 月	県消防ラッパ吹奏大会（須坂市）において、須坂市消防団優勝
〃 5 年 9 月	新消防庁舎が竣工し、9 月 9 日午前 9 時から業務開始。（敷地面積5, 149. 10㎡、庁舎棟 鉄筋コンクリート（車庫：鉄骨造平屋）造 3 階建、延床面積2, 028. 96㎡、訓練塔主塔鉄筋コンクリート造 5 階建延床面積152. 90㎡、副塔鉄骨造108. 00㎡、総事業費801, 388千円）
〃 5 年10月	職員 1 人が初めて救急救命東京研修所へ入校（平成 6 年 3 月まで）
〃 5 年12月	須坂署に救助工作車Ⅱ型を配備（日野 U－G D 3 H G A 型）
〃 6 年 4 月	救急救命士業務開始
〃 6 年 9 月	市民安全フェスティバル開催
〃 7 年 1 月	須坂署の消防ポンプ自動車を更新配備（いすゞエルフ・C D－I 型）
〃 7 年 1 月	阪神・淡路大震災に伴う救援のため、救助隊員 5 人及び救助工作車 1 台を神戸市へ派遣（21日から26日まで）
〃 7 年 2 月	須坂署に化学消防自動車を配備（日野クルージングレンジャー）
〃 7 年 3 月	須坂市コミュニティー消防センターを開設（北横町）
〃 7 年 4 月	消防職員定数を90人に改正

平成 7 年 6 月	日本消防協会から指令車 1 台の寄贈を受け須坂署に配備 (ニッサンブルーバード)
〃 7 年 7 月	組立式アルミボートを配備 須坂署の指令 1 号車を更新配備 (三菱パジェロ)
〃 7 年 11 月	上信越自動車道須坂長野東及び信州中野インターチェンジ間供用開始を前に 中野市消防本部・長野県警察本部・日本道路公団と合同で、消防訓練を実施
〃 8 年 1 月	須坂署の 30m 級梯子車を更新配備 (日野スーパードルフィンプロフィア)
〃 8 年 3 月	高速道路上等水利部署の困難な地域での消火活動に備え、須坂署に 10t 級水槽 車を配備 (三菱ふそうザグレート)
〃 8 年 3 月	小布施分署の水槽付消防ポンプ自動車) を更新配備 (日野レンジャー・水 I-A 型)
〃 8 年 12 月	小谷村蒲原沢災害現場へ緊急消防援助隊を派遣 (7 日から 16 日 12 隊 48 人)
〃 8 年 12 月	須坂署の水槽付消防ポンプ自動車を更新配備 (日野レンジャー・水 I-A 型)
〃 9 年 5 月	峰の原高原地区非常用サイレン設置
〃 9 年 7 月	携帯型無線機更新配備 (5W・22 基) 県消防ラッパ吹奏大会 (長野市) において、須坂市消防団優勝
〃 10 年 1 月	峰の原高原区より消防団員入団 (5 人)、小型動力消防ポンプ付積載車を配備
〃 10 年 6 月	須坂署の広報車を更新配備 (マツダボンゴ)
〃 11 年 5 月	須坂市塩野町山林火災現場へ長野県消防防災航空隊ヘリコプター「アルプス」 管内初出動
〃 12 年 3 月	高山分署に長野県共済農業協同組合連合会から寄贈された救急車 1 台を配備 (ニッサンキャラバン)
〃 12 年 4 月	消防職員定数を 93 人に改正
〃 12 年 7 月	県消防ラッパ吹奏大会 (上田市) において、須坂市消防団優勝
〃 12 年 12 月	須坂署の消防ポンプ自動車を更新 (日野レンジャー A 2 級・C D II 型)
〃 13 年 1 月	須坂署の救急車を高規格救急車に更新配備 (トヨタハイメディック)
〃 13 年 7 月	小布施分署指令車更新 (トヨタ b B)
〃 13 年 10 月	北京市消防局研修視察来庁
〃 13 年 12 月	村山水防倉庫移転新築
〃 14 年 1 月	消防団員定数を 881 名に改正、分団部を 37 部に統合
〃 14 年 7 月	県消防ラッパ吹奏大会 (白馬村) において、須坂市消防団優勝
〃 14 年 10 月	組織機構改革により、消防本部に総務課、予防課、警防課の課制導入、 消防署に消防係を新設
〃 14 年 10 月	通信指令室の拡張、仮眠室の個室化及び、休憩室増築工事竣工
〃 15 年 1 月	消防緊急通信指令施設 (II 型) 稼動開始
〃 15 年 3 月	小布施分署の救急車を高規格救急車に更新配備 (トヨタハイメディック)
〃 15 年 4 月	女性消防吏員を初採用、須坂署勤務
〃 15 年 5 月	長野地域メディカルコントロール協議会発足
〃 15 年 5 月	須高危険物安全協会と須高防火管理協議会が合併し須高危険物・防火管理協会 となる

平成16年 3 月	須坂市塩野町で林野火災発生、県消防防災航空隊ヘリコプター「アルプス」出動要請、消火活動（回数33、散水量16,500リットル） 緊急消防援助隊登録 消防隊 2 隊、10人（消防ポンプ自動車 1 台、化学消防ポンプ 1 台）その他特殊装備隊 1 隊、2 人（大型水槽車 1 台） 計 3 隊12人
〃 16年 7 月	福井豪雨に伴う福井県福井市災害現場へ、緊急消防援助隊派遣 （18～19日 指令車 1 台、ポンプ車 1 台 隊員 6 人）
〃 16年 8 月	県消防ラッパ吹奏大会（南牧村）において、須坂市消防団優勝 消防本部南側緊急車両出入口道路完成
〃 16年10月	中越地震に伴う新潟県小千谷市災害現場へ、緊急消防援助隊派遣 （25～29日 高規格救急車1台 隊員 6 人）
〃 16年11月	高山分署のポンプ車を更新配備（日野デュトロ C D－I 型）
〃 17年 2 月	救急救命士気管挿管実習開始され救命処置拡大される
〃 17年 4 月	須高地区山岳遭難防止対策協会の事務局を須坂市産業振興部商業観光課から須坂市消防本部総務課へ移管
〃 17年 8 月	大規模災害発生時及び緊急消防援助隊用大型エアーテント購入
〃 17年10月	消防団音楽隊制服更新
〃 17年11月	携帯電話からの119番通報直接受信開始
〃 18年 7 月	平成18年 7 月豪雨に伴う岡谷市災害現場へ、長野県消防相互応援協定に基づき職員を派遣（19日 ポンプ車 1 台 隊員 4 人） 県消防ラッパ吹奏大会（大滝村）において、須坂市消防団優勝
〃 18年11月	ミュージカル「地震、カミナリ、火事、オヤジ」上演（メセナホール）（24日）
〃 19年 2 月	日本消防協会から指令車 1 台の寄贈を受け須坂署に配備 （日産エクストレイル）
〃 19年 3 月	須坂市消防署の救急車を高規格救急車に更新配備（トヨタハイメディック）
〃 19年 9 月	高山分署の査察車を更新配備（マツダファミリアバン）
〃 19年10月	小布施分署のポンプ車を更新配備（日野デュトロ C D－I 型） 第45回長野県総合防災訓練・第12回長野県緊急消防援助隊合同訓練を須坂市・小布施町・高山村で実施
〃 19年11月	消防団機械器具置場改築工事（第 5 分団 4 部 相之島町）
〃 20年 2 月	消防団に活動服を導入配備
〃 20年 3 月	自治体消防60周年記念事業（於日本武道館）で消防団ラッパ隊が中野市、辰野町と合同でラッパ吹奏を披露
〃 20年 4 月	消防広域化推進事務局へ職員 1 名派遣
〃 20年 7 月	須坂市消防署の指令 2 号車を更新配備（トヨタプロボックス） 県消防ラッパ吹奏大会（立科町）において、須坂市消防団優勝
〃 20年10月	消防広域化研究協議会設立（6 日） 「地域総合防災力展（東京ビッグサイト）」で、須坂市消防団ラッパ隊がオープニングを飾る吹奏を披露
〃 21年 8 月	第51回長野県消防ポンプ操法大会・第18回長野県ラッパ吹奏大会並びに第1回消防団ラッパ吹奏交流会が須坂市（県民須坂運動広場・市野球場）にて開催される
〃 21年11月	消防団機械器具置場改築工事（第 7 分団 7 部 二睦町）

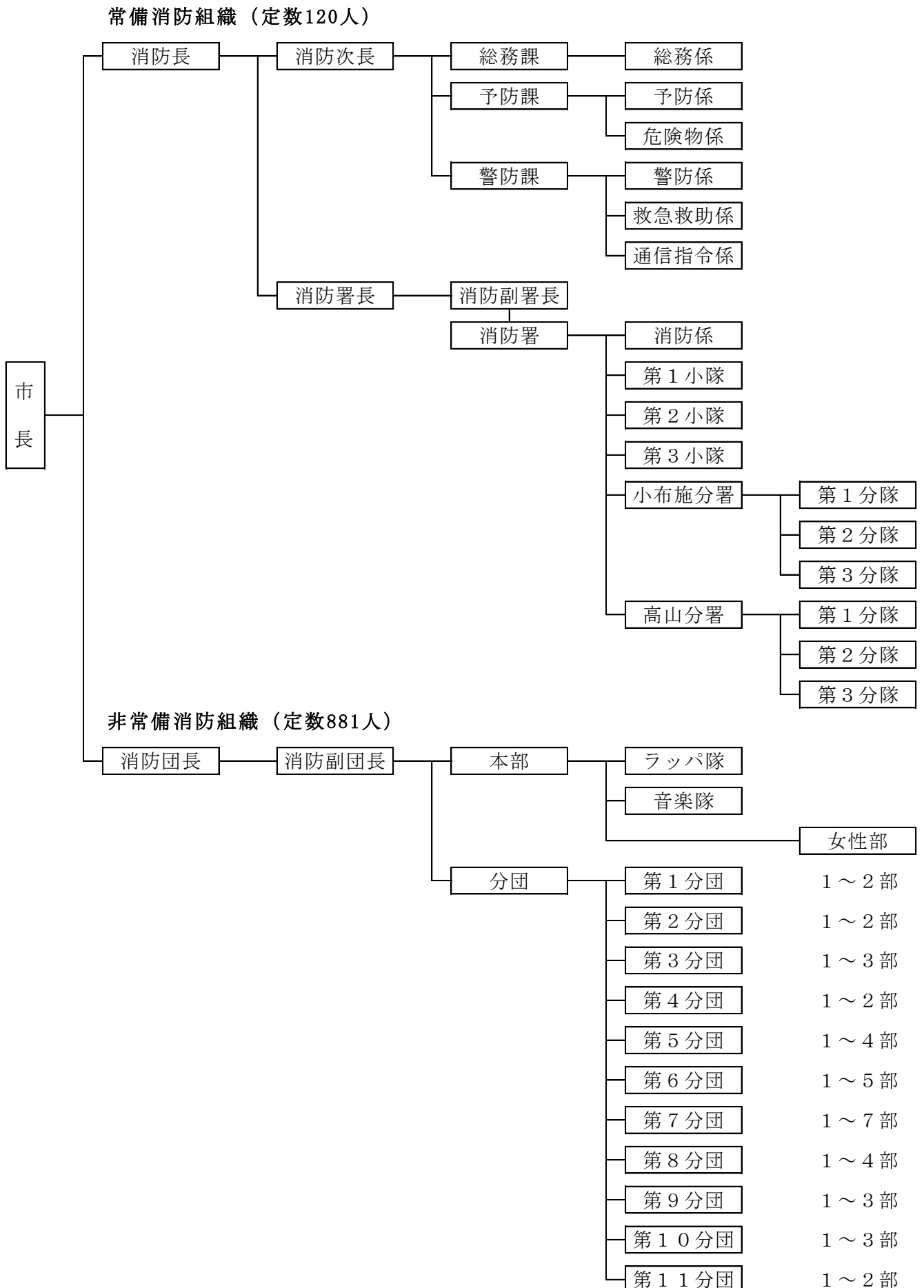
平成22年 1 月	小布施分署の仮眠室を個室化
〃 22年 3 月	須坂市消防署の水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-A型CAFS装置付）を更新配備
〃 22年 7 月	須坂市消防団旗更新
〃 22年 8 月	県消防ラッパ吹奏大会（塩尻市）において、須坂市消防団優勝 梯子付消防自動車がオーバーホールを完了する（整備期間 5/11～8/18）
〃 22年12月	東北信消防救急無線デジタル化推進委員会が設立される（12/24）
〃 23年 3 月	東日本大震災発生 被災地へ緊急消防援助隊として第7次隊まで職員を派遣 （3/11東北地方太平洋沖地震発生 第1次隊3/11～第7次隊3/31まで延べ45人）
〃 23年 6 月	第30回長野県消防救助技術大会、東日本大震災の影響により中止となる
〃 23年11月	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が松本市を中心に開催される （22人参加）
〃 24年 2 月	第33回長野県消防職員意見発表会で関野晃充消防士が最優秀賞受賞
〃 24年 4 月	第35回全国消防長会関東支部消防職員意見発表会で関野晃充消防士が 優良賞受賞
〃 24年 7 月	第21回県消防ラッパ吹奏大会（上田市）において、須坂市消防団優勝（10連覇） 第54回県消防ポンプ操法大会小型ポンプ操法において、須坂市消防団 （第8分団）第5位入賞
〃 24年 8 月	全国共済農業共同組合連合会長長野県本部から高規格救急車の寄贈を受け高山 分署に更新配備（トヨタハイメディック）
〃 24年11月	須坂市消防本部発足50周年事業として須坂市消防団音楽隊定期演奏会を実施
〃 24年12月	1年間の救急出動件数は、過去最高の2,717件（業務開始年の50倍）となる
〃 25年 1 月	須坂市消防団分団付女性団員を任用
〃 25年 3 月	東北信地域消防救急無線無線整備に関する基本協定を締結
〃 25年 3 月	統合型位置情報通知装置導入（4月1日稼動開始）
〃 25年 6 月	第35回須坂市消防団技術大会において、女性消防団員が軽可搬ポンプ操法を 展示
〃 25年 6 月	須坂市消防団が消防ラッパを通じ、地域の防災力向上に貢献した功績として 長野県知事表彰を受章
〃 25年 8 月	第55回県消防ポンプ操法大会において、須坂市女性消防団員が消防ポンプ操法 を実技
〃 25年 8 月	一般財団法人救急振興財団から救急普及啓発資機材の寄贈を受ける
〃 25年 9 月	信州プロレス グレート☆無茶を一日救急隊長に委嘱（9日救急の日）
〃 25年10月	長野県市町村振興協会消防本部活動支援事業を活用して指令1号車及び支援 車を須坂署に配備する
〃 25年10月	消防救急デジタル無線整備の委託に関する協定を締結
〃 25年11月	（有）中澤製作所から地上操作型半鐘叩き装置の寄贈を受け第11分団2部へ設置 消防団120年・自治体消防65周年記念大会（東京ドーム）において、須坂市消防団 ラッパ隊（22人）が全国200人のラッパ隊の中核として吹奏を実技するとともに 本市ラッパ長が指揮する（25日）
〃 26年 3 月	総務省消防庁から消防ポンプ付軽自動車両（第5分団4部配備）及び消防団拠 点資機材一式の無償貸与
〃 26年 7 月	須坂市消防団カラーガード隊発足記念パレード（19日 須坂カッタカタまつり）

平成26年 9 月	御嶽山噴火災害（27日）に伴い長野県消防相互応援協定に基づき職員を派遣 （28日～10月17日 11隊、延べ30人）
〃 26年10月	消防団機械器具置場改築工事（第10分団 2 部 米子町）
〃 27年 3 月	須坂市消防署の救急須坂 2 号車（高規格救急車）更新配備 須坂市消防署の救助工作車（Ⅱ型）更新配備 消防指令装置のデジタル無線対応改修完了 消防救急デジタル無線整備完了
〃 27年 4 月	緊急消防援助隊に救急隊・救助隊を登録し消火隊と合わせ 3 隊の登録となる
〃 27年 5 月	千曲川・犀川総合水防演習において須坂市消防団（30人）が月の輪工の演習を行う
〃 27年 7 月	第57回県消防ポンプ操法大会小型ポンプ操法において、須坂市消防団 （第 9 分団）第 5 位入賞 御嶽山噴火災害による行方不明者の再捜索に伴い長野県消防相互応援協定に基づき職員を派遣（28日～8月7日 延べ30人）
〃 27年10月	高速道路重大事故想定訓練をNEXCO東日本と合同で行う
〃 27年11月	消防団小型動力ポンプ付積載車の増強配備（6 分団 2 部） 須坂市消防署のポンプ 2 号車（CD-Ⅰ型）更新配備 日本消防協会から消防団に防災学習・災害活動車両及び資機材の交付を受ける
〃 28年 1 月	震災対応訓練を須坂創成高校須園キャンパスの解体校舎を活用して行う
〃 28年 3 月	消防救急デジタル無線整備の完了に伴い、東北信消防救急無線デジタル化推進委員会が廃止となる（31日）
〃 28年 4 月	長野県消防学校・市町村消防職員相互交流実施要領に基づく職員相互交流実施（28、29年度）
〃 28年 7 月	第25回県消防ラッパ吹奏大会（小海町）において、須坂市消防団優勝（11回目）
〃 28年10月	第25回全国消防操法大会が長野市長野オリンピックスタジアムで開催され、須坂市消防団ラッパ隊がアトラクションで県大会優勝曲を吹奏、音楽隊が式典音楽を演奏
〃 28年11月	消防団小型動力ポンプ付積載車の増強配備（7 分団 5 部）
〃 28年12月	須坂市消防署の災害対応特殊化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型、CAFS装置）及び小型動力消防ポンプ付水槽車（Ⅱ型、10 t）を更新配備
〃 29年 3 月	長野県消防防災ヘリコプター「アルプス」が、鉢伏山付近で訓練フライト中に墜落し、消防隊員 7 名、操縦士 1 名、整備士 1 名が殉職（5 日）
〃 29年 3 月	消防団詰所兼機械器具置場竣工（第 3 分団 3 部 八幡町）
〃 29年 9 月	須坂市消防署の災害対応特殊消防ポンプ自動車（CD-Ⅰ型、CAFS装置）を更新 高圧空気充填機の更新 秋田県で開催された第23回全国女性消防操法大会に須高消防協会の代表として須坂市消防団員が出場
〃 29年12月	本郷水防倉庫改築工事
〃 30年 7 月	第27回県消防ラッパ吹奏大会（大桑村）において、須坂市消防団優勝（12回目）
〃 30年12月	須坂市消防署の救急須坂 3 号車（高規格救急車）更新配備、小布施分署の救急車（高規格救急車）の更新配備
〃 31年 3 月	消防団機械器具置場竣工（第 4 分団 2 部 大谷町）

令和元年10月	令和元年東日本台風災害により、消防本部、消防団による救助活動、水防活動実施
〃 元年11月	須坂市消防署の救急須坂1号車（高規格救急車）更新配備 小布施分署のタンク車（災害対応特殊消防ポンプ自動車 CD-I 型、CAFS装置）を更新配備
〃 2年11月	須坂市消防団音楽隊定期演奏会を無観客開催のうえWeb配信
〃 2年11月	内閣総理大臣から令和元年東日本台風の防災活動により防災功労表彰（須坂市消防団）を受ける
〃 2年12月	小布施分署の小布施1号車（トヨタプロボックス）を更新配備
〃 3年1月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、須坂市消防出初式中止
〃 3年2月	消防庁舎女性施設改修工事
〃 3年7月	静岡県熱海市土石流災害現場へ緊急消防援助隊派遣 （7/3土石流災害発生 第1次隊7/12～第4次隊7/20まで延べ20人）
〃 3年8月	消防署に、救急業務における感染防止対策として搬送用アイソレータ装置を配備
〃 3年10月	消防庁舎男性シャワールームを改修
〃 3年11月	須坂市消防団音楽隊定期演奏会を無観客開催のうえWeb配信
〃 4年1月	消防署の30m級のはしご車を25m屈折はしご車（日野プロフィア）に更新し配備
〃 4年1月	須坂市消防出初式の第1式場を須坂市文化会館（メセナホール）に変更し開催
〃 4年4月	須坂市消防団機能別団員制度を発足
〃 4年10月	高山分署のポンプ車（災害対応特殊消防ポンプ自動車 CD-I 型、CAFS装置）を更新配備
〃 4年10月	須坂市消防署の須坂指令3号車（トヨタRAV4）を更新配備
〃 4年11月	須坂市消防団音楽隊定期演奏会を入場制限（整理券の配布）し開催
〃 5年1月	消防団詰所兼機械器具置場移転（第2分団1部 本上町）
〃 5年4月	消防職員定数を120人に改正
〃 5年7月	長野市消防局・須坂市消防本部消防指令業務共同運用推進委員会を設置
〃 5年12月	高山分署の救急車（高規格救急車）を更新配備
〃 6年1月	須坂市消防団本部に女性部を新設
〃 6年1月	須坂市消防署の須坂指令2号車（トヨタタウンエースバン）を更新配備
〃 6年1月	能登半島地震発生 石川県珠洲市へ緊急消防援助隊派遣 （1/1地震発生 第1次隊1/10～第4次隊1/22まで延べ30人）

消 防 機 構 図

(2024 年 4 月 1 日現在)



事 務 分 掌

〔消防本部事務分掌〕

総務課

総務係

- (1) 公印に関すること。
- (2) 本部及び署の組織、職員の人事及び給与に関すること。
- (3) 庁舎及び消防施設の設置、管理及び運営に関すること。
- (4) 規則の制定、改廃に関すること。
- (5) 職員の服務及び研修に関すること。
- (6) 本部の文書收受及び発送に関すること。
- (7) 消防統計に関すること。
- (8) 消防相互応援協定に関すること。
- (9) 表彰及び報償に関すること。
- (10) 公務災害補償に関すること。
- (11) 消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金審査委員会に関すること。
- (12) 水防本部に関すること。
- (13) 消防センターに関すること。
- (14) 消防職員委員会に関すること。
- (15) 本部の予算及び決算に関すること。
- (16) 消防団に関すること。
- (17) 退職報償審査会に関すること。
- (18) 団員等の公務災害補償に関すること。
- (19) 山岳遭難防止対策協会との連絡調整に関すること。
- (20) その他本部の庶務に関すること。

予防課

予防係

- (1) 火災予防の指導及び防火思想の普及に関すること。
- (2) 火災の原因及び損害調査に関すること。
- (3) 建築確認等の同意に関すること。
- (4) 消防用設備等の設置指導、検査及び違反処理に関すること。
- (5) リ災の証明に関すること。
- (6) 防火管理者の指導育成に関すること。
- (7) 防火対象物点検報告及び自主点検表示に関すること。
- (8) 予防統計に関すること。
- (9) その他予防に関すること。

危険物係

- (1) 危険物製造所等の許可、認可、届出及び承認に関すること。
- (2) 危険物タンクの水張り等の検査に関すること。
- (3) 危険物製造所等に係る違反処理に関すること。
- (4) 液化石油ガス等に関すること。
- (5) 漏油事故対策に関すること。
- (6) 危険物統計に関すること。
- (7) その他危険物等に関すること。

警防課

警防係

- (1) 防災計画に関すること。
- (2) 消防機械器具の導入計画に関すること。
- (3) 消防機械器具の配置、運用及び処分に関すること。
- (4) 消防用具等の研究改善に関すること。
- (5) 水火災等の警戒防ぎょに関すること。
- (6) 消防水利の整備に関すること。
- (7) 水防施設資機材の整備に関すること。
- (8) 消火栓放水器具等設置に関すること。
- (9) その他警防に関すること。

救急救助係

- (1) 災害救急、救助計画に関すること。
- (2) 自主防災組織等の訓練及び指導育成に関すること。
- (3) 消防活動の安全管理に関すること。
- (4) 警防統計に関すること。
- (5) 救急、救助等の証明に関すること。
- (6) その他救急救助に関すること。

通信指令係

- (1) 緊急通信の受信及び出動指令に関すること。
- (2) 通信施設等の維持、管理及び整備に関すること。
- (3) 通信管制データの処理及び管理に関すること。
- (4) 広報及び災害時における情報収集、関係機関との連絡調整に関すること。
- (5) 無線及び水利統制の指令に関すること。
- (6) 火災警報等に関すること。
- (7) その他通信指令に関すること。

消防署

- (1) 公印に関する事。
- (2) 庁舎の維持管理に関する事。
- (3) 職員の服務及び研修に関する事。
- (4) 署の文書收受及び発送に関する事。
- (5) 署の予算及び決算に関する事。
- (6) 火災予防の指導及び広報に関する事。
- (7) 火災等の原因調査に関する事。
- (8) 建築確認等の同意に関する事。
- (9) 立入検査に関する事。
- (10) 消防用設備等の調査及び審査に関する事。
- (11) 防火対象物定期点検報告に関する事。
- (12) 危険物等の調査及び審査に関する事。
- (13) 条例に基づく届出に関する事。
- (14) 防災計画及び訓練に関する事。
- (15) 応急手当の普及、啓発に関する事。
- (16) 消防地理及び水利の調査に関する事。
- (17) 消防機械器具の維持、管理に関する事。
- (18) 自主防災組織等の訓練及び指導に関する事。
- (19) 水火災等の警戒及び防ぎょ活動に関する事。
- (20) 救急及び救助に関する事。
- (21) 消防水利の保全に関する事。
- (22) 消防機械器具の点検整備に関する事。
- (23) 緊急通信の受信及び出動指令に関する事。
- (24) 通信施設等の維持、管理及び整備に関する事。
- (25) 通信管制データの処理及び管理に関する事。
- (26) 広報及び災害時における情報収集、関係機関との連絡調整に関する事。
- (27) 無線及び水利統制の指令に関する事。
- (28) 火災警報等に関する事。
- (29) その他消防活動、通信指令及び分署の庶務に関する事。

分署

- (1) 水火災等の警戒及び防ぎょ活動に関する事。
- (2) 救急に関する事。
- (3) 消防水利の保全に関する事。
- (4) 消防機械器具の点検整備に関する事。
- (5) 消防通信に関する事。
- (6) 庁舎の維持管理に関する事。
- (7) 職員の服務及び研修に関する事。
- (8) 分署の文書收受及び発送に関する事。
- (9) 分署の予算及び決算に関する事。
- (10) 分署の庶務に関する事。

- (11) 火災予防の指導及び広報に関すること
- (12) 火災等の原因調査に関すること。
- (13) 立入検査に関すること。
- (14) 防火対象物定期点検報告に関すること。
- (15) 条例に基づく届出に関すること。
- (16) 危険物の調査及び審査に関すること。
- (17) 警防計画及び訓練に関すること。
- (18) 応急手当の普及啓発に関すること。
- (19) 自主防災組織等の訓練指導に関すること。
- (20) その他消防活動に関すること。

消 防 予 算

(千円)

区分 \ 年度		2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
一般会計	当 初	27,550,000	25,030,000	24,930,000	26,380,000	27,030,000
	決 算	33,303,225	30,464,635	30,295,755	29,443,421	
	当 初 決 算 対 比	120.88	121.71	121.52	111.61	
消 防 費	当 初	863,174	1,051,103	891,494	914,514	969,055
	決 算	842,235	1,035,649	919,926	918,231	
	一般会計決算構成比	2.53	3.40	3.04	3.12	
常 備 消防費	当 初	460,597	630,625	457,892	546,715	528,879
	決 算	461,097	639,554	501,921	572,604	
	消防費決算構成比	54.75	61.75	54.56	62.36	
非常備 消防費	当 初	98,196	91,522	87,564	90,349	95,418
	決 算	77,991	74,214	86,515	73,411	
	消防費決算構成比	9.26	7.17	9.41	7.99	
消 防 施設費	当 初	32,023	57,911	27,652	27,231	39,467
	決 算	33,820	53,472	26,971	26,806	
	消防費決算構成比	4.02	5.16	2.93	2.92	
水防費	当 初	633	563	563	730	560
	決 算	624	548	547	717	
	消防費決算構成比	0.07	0.05	0.06	0.08	
小布施 分署費	当 初	150,873	147,531	146,819	133,927	186,721
	決 算	148,033	146,522	136,638	130,042	
	消防費決算構成比	17.58	14.15	14.85	14.16	
高 山 分署費	当 初	120,852	122,951	171,004	115,562	118,010
	決 算	120,670	121,342	167,336	114,653	
	消防費決算構成比	14.33	11.72	18.19	12.49	

所 属 別 ・ 階 級 別 職 員 配 置 状 況

(2024 年 4 月 1 日現在)

階 級 所 属			消 防 監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副 士長	消 防 士	会 年 計 度	合 計	
消 防 長			1								1	
消 防 次 長				1							1	
消 防 本 部	総務課	課 長		1							1	
		総 務 係			1	3	1		1	1	7	
	予防課	課 長		1							1	
		予 防 係			1	2					3	
		危 険 物 係			1						1	
	警防課	課 長		1							1	
		警 防 係				1	1			1	3	
		救急救助係				1					1	
		通信指令係			1	2	1				4	
小 計			1	4	4	9	3		1	2	24	
消 防 署 長				(1)							(1)	
消 防 副 署 長				1							1	
須 坂 市 消 防 署	坂 市	消 防 係			1		1			2	4	
		第 1 小 隊			1	3	2		6		12	
		第 2 小 隊			2	3	2		5		12	
		第 3 小 隊			1	4	1	1	5		12	
		計		1	5	10	6	1	16	2	41	
	小 布 施 分 署	第 1 分 隊			1	1	2		2		6	
			第 2 分 隊			1	1	2		2		6
			第 3 分 隊			1	1	1		3		6
			計			3	3	5		7		18
		高 山 分 署	第 1 分 隊			1	2	1		1		5
			第 2 分 隊			1	2	1		1		5
			第 3 分 隊				2	2		1		5
			計			2	6	4		3		15
小 計				1	10	19	15	1	26	2	74	
合 計			1	5	14	28	18	1	27	4	98	

(注) 1 職員定数 120 人

2 消防次長（消防司令長）は消防署長兼務

3 小布施分署長・高山分署長（消防司令）は第 1 分隊長兼務

4 市長部局へ出向 1 名（総務部総務課危機管理係）

5 長野県消防学校へ派遣 1 名（消防本部総務課付）

6 会計年度は会計年度任用職員

※ 消防長の階級について、消防司令長から消防監に改正（2023 年 4 月 1 日施行）

階級別年齢別状況及び階級別勤務年数

(2024年4月1日現在)

(1) 階級別年齢別状況

階級 勤務年数	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	会 計 度	合 計
18 歳～20 歳							4		4
21 歳～25 歳							15		15
26 歳～30 歳					2		5		7
31 歳～35 歳					6	1	3		10
36 歳～40 歳				3	3				6
41 歳～45 歳				8					8
46 歳～50 歳				10	3				13
51 歳～55 歳			8	7	4			1	20
56 歳以上	1	5	6					3	15
合 計	1	5	14	28	18	1	27	4	98
平 均 年 齢 (歳)	56.00	57.20	55.43	46.82	40.61	35.00	24.11	57.50	41.59

(2) 階級別勤務年数状況

階級 勤務年数	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	会 計 度	合 計
5 年 以下							19	3	22
6 年～10 年					1		8		9
11 年～15 年					8	1		1	10
16 年～20 年				3	1				4
21 年～25 年				8	1				9
26 年～30 年				11	3				14
31 年～35 年		1	1	5	1				8
36 年～40 年	1	4	13	1	3				22
41 年 以上									
合 計	1	5	14	28	18	1	27	4	98
平均年数 (年)	37.00	36.40	35.93	26.29	20.89	14.00	3.59	4.25	20.02

職 員 研 修 及 び 資 格 保 有 状 況

(1) 消防学校等入校状況

2023 年度

	教育区分		人数
県消防学校	初任教育	初任科（第 66 期）	5
	専任教育	救助科（第 33 期）	1
		警防科（第 40 期）	2
		火災調査科（第 51 期）	1
		危険物科（第 39 期）	1
		救急科（第 27 期）	4
		予防査察科（第 56 期）	1
	特別教育	救急高度化研修（第 23 期）	1
		操法指導員講習（第 27 期）	3
		ビデオ硬性挿管用喉頭鏡講習	4

(2) 救急救命研修所

救急救命士受験資格取得研修	第 65 期	1
感染防止対策強化研修		1

(3) 職員の資格保有状況

2024 年 4 月 1 日現在

資 格	人数	資 格	人数
運転免許（大型）	49	予防技術資格者（防火査察）	34
運転免許（中型・準中型含む）	80	予防技術資格者（消防設備等）	9
運転免許（二輪大型）	22	予防技術資格者（危険物）	9
運転免許（二輪中型）	44	劇毒物取扱者	1
小型移動式クレーン	39	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能	6
玉掛け技能	46	特定化学物質等作業主任者技能講習	7
小型船舶操縦士	29	ボイラー技士（2 級）	1
陸上特殊無線技士（第 1 級）	1	潜水士	8
陸上特殊無線技士（第 2 級）	91	発破技士	3
アマチュア無線技士（第 4 級）	17	ガス溶接技能	20
危険物取扱者（乙ー 1）	4	巻上げ機（ウインチ）特別教育	7
危険物取扱者（乙ー 4）	68	フルハーネス型墜落抑制用器具を用いて行う作業に係る特別教育	13
消防設備士（甲）	3		
消防設備士（乙ー 1）	3	伐木特別教育	26
消防設備士（乙ー 4）	6	小型建設機械技能（整地）	25
消防設備士（乙ー 6）	38	小型建設機械技能（解体）	17
救急隊員資格（救急救命士以外）	60	防災士	11
救急救命士	31		

消 防 相 互 応 援 協 定 等 の 状 況

協定の名称	締結年月日	締結市町村等
須 高 消 防 相 互 応 援 協 定	平成 2 年 3 月 29 日 (昭和 39 年 12 月 21 日締結 協定を全面改正)	須坂市、小布施町、高山村
消 防 相 互 応 援 協 定	平成 18 年 9 月 28 日	須坂市、上田市
	平成 15 年 3 月 17 日	須坂市、群馬県吾妻広域町村 圏振興整備組合
長 野 県 消 防 相 互 応 援 協 定	平成 8 年 2 月 14 日 (長野県消防相互応援協定に 基づく、高速自動車国道業務 提携平成 9 年 10 月 16 日)	須坂市 長野市 佐久広域連合 上田地域広域連合 諏訪広域連合 上伊那広域 南信州広域連合 木曽広域連合 松本広域連合 北アルプス広域連合 千曲坂城消防組合 岳北広域行政組合 岳南広域消防組合

歴代須坂市消防長

	氏 名	在 職 期 間
1	滝 沢 歳 次	昭和37年4月1日 ～ 昭和40年4月30日
2	山 際 順	昭和40年5月1日 ～ 昭和43年1月23日
3	松 沢 令之助	昭和43年1月24日 ～ 昭和51年1月23日
4	山 際 順	昭和51年1月24日 ～ 昭和59年1月23日
5	田 中 太 郎	昭和59年1月24日 ～ 昭和59年3月31日
6	飯 泉 信 義	昭和59年4月1日 ～ 昭和61年3月31日
7	丹 羽 本 治	昭和61年4月1日 ～ 昭和62年3月31日
8	勝 山 周 二	昭和62年4月1日 ～ 平成元年3月31日
9	相 沢 裕	平成元年4月1日 ～ 平成3年3月31日
10	井 浦 雪 男	平成3年4月1日 ～ 平成5年3月31日
11	山 岸 松 男	平成5年4月1日 ～ 平成8年3月31日
12	西 澤 清	平成8年4月1日 ～ 平成9年3月31日
13	中 村 嘉 夫	平成9年4月1日 ～ 平成11年3月31日
14	宮 川 忠 久	平成11年4月1日 ～ 平成12年3月31日
15	池 森 敏 文	平成12年4月1日 ～ 平成14年3月31日
16	北 澤 清 夫	平成14年4月1日 ～ 平成16年3月31日
17	村 石 幸 夫	平成16年4月1日 ～ 平成17年3月31日
18	梅 本 良 夫	平成17年4月1日 ～ 平成19年3月31日
19	太 田 邦 晴	平成19年4月1日 ～ 平成22年3月31日
20	塚 田 茂	平成22年4月1日 ～ 平成27年3月31日
21	山 岸 茂 幸	平成27年4月1日 ～ 平成31年3月31日
22	田 村 忠 男	平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日
23	飯 塚 俊 樹	令和2年4月1日 ～ 令和4年3月31日
24	松 澤 宏 樹	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日
25	手 塚 寿 彦	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日
26	山 岸 良 浩	令和6年4月1日 ～ 現在

歴代須坂市消防署長

	氏 名	在 職 期 間
1	渡 辺 修	昭和37年4月1日 ～ 昭和43年5月31日
2	関 野 英太郎	昭和43年6月1日 ～ 昭和47年3月31日
3	金 箱 今朝春	昭和47年4月1日 ～ 昭和51年3月31日
4	樋 口 吉 雄	昭和51年4月1日 ～ 昭和53年3月31日
5	滝 沢 孝 雄	昭和53年4月1日 ～ 昭和55年6月30日
6	町 田 敏 一	昭和55年7月1日 ～ 昭和57年3月31日
7	塩 崎 哲 雄	昭和57年4月1日 ～ 昭和59年3月31日
8	飯 泉 信 義	昭和59年4月1日 ～ 昭和61年3月31日
9	青 木 正 次	昭和61年4月1日 ～ 平成6年3月31日
10	村 石 義 雄	平成6年4月1日 ～ 平成7年3月31日
11	豊 田 勝 美	平成7年4月1日 ～ 平成10年3月31日
12	須 田 三千雄	平成10年4月1日 ～ 平成12年3月31日
13	大 塚 堯	平成12年4月1日 ～ 平成13年3月31日
14	富 岡 靖 門	平成13年4月1日 ～ 平成15年3月31日
15	直 江 迪 夫	平成15年4月1日 ～ 平成18年3月31日
16	山 岸 壽	平成18年4月1日 ～ 平成21年3月31日
17	中 村 純 一	平成21年4月1日 ～ 平成22年3月31日
18	藤 澤 喜美男	平成22年4月1日 ～ 平成26年3月31日
19	樋 口 保 彦	平成26年4月1日 ～ 平成27年3月31日
20	山 崎 弘	平成27年4月1日 ～ 平成30年3月31日
21	田 尻 俊 幸	平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日
22	丸 田 幸 彦	平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日
23	山 本 大 八	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日
24	西 澤 悦 郎	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日
25	樋 口 実	令和4年4月1日 ～ 現在

予 防



須高危険物・防火管理協会
第 21 回防火ポスターコンクール最優秀賞作品

防火対象物と査察実施状況

(2023 年度)

(消防法施行令別表第 1 に掲げる用途区分)

防火対象物			区 分		令第 10 条該当				査察実施事業所			
			市町村別		須坂	小布施	高山	計	須坂	小布施	高山	計
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館	1			1						
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	93	27	22	142	6	7	8	21		
(2)	イ	キャバレー・ナイトクラブ										
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	1		1	2	1			1		
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗										
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店										
	ロ	飲 食 店	46	13	6	65	5	7	1	13		
(4)		店 舗	81	19	3	103	14	2	2	18		
(5)	イ	旅 館 ・ ホ テ ル	64	6	24	94	4	3	6	13		
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅	398	61	7	466		1	1	2		
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所	39	9	1	49	2	2		4		
	ロ	自力避難困難者入所福祉施設	16	4	4	24	3	1		4		
	ハ	老 人 ・ 児 童 福 祉 施 設	57	12	4	73	11	1		12		
	ニ	幼 稚 園	5			5						
(7)		小 中 高 等 学 校	86	9	7	102	2		2	4		
(8)		図 書 館 ・ 博 物 館	7	7	2	16		1		1		
(9)	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場										
	ロ	公 衆 浴 場	1	1	4	6			3	3		
0)		車両の停車場・航空機発着場										
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	32	11	7	50						
(12)	イ	工 場 ・ 作 業 場	516	99	88	703	6	3	22	31		
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ										
(13)	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	17	3	3	23						
	ロ	飛 行 機 の 格 納 庫										
(14)		倉 庫	247	61	40	348		5		5		
(15)		前各項に該当しない事業場	195	28	32	255	3	4	7	14		
(16)	イ	複合用途の特定防火対象物	105	27	10	142	11	8	2	21		
	ロ	複合用途の非特定防火対象物	50	10	8	68	1		1	2		
(16 の 2)		地 下 街										
(16 の 3)		準 地 下 街										
(17)		文 化 財 建 造 物	17	8	6	31	1		2	3		
(18)		延長 50m以上のアーケード										
(19)		市町村長の指定する山林										
(20)		総務省令で定める舟車										
合 計			2,075	415	279	2,769	70	45	57	172		

(注) 令第 10 条とは、消火器の設置対象となる防火対象物

防 火 管 理 者 選 任 状 況

(2023 年度)

(消防法施行令別表第 1 に掲げる用途区分)

防火対象物			区分		法第 8 条該当								防火管理者届出施設							
					甲 種				乙 種				甲 種				乙 種			
					須坂	小布施	高山	計	須坂	小布施	高山	計	須坂	小布施	高山	計	須坂	小布施	高山	計
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館			1			1					1			1				
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場			51	5	7	63	40	18	15	73	45	4	7	56	40	18	15	73
(2)	イ	キャバレー・ナイトクラブ																		
	ロ	遊技場・ダンスホール			1			1					1			1				
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗																		
	ニ	カラオケボックス			1			1												
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店																		
	ロ	飲 食 店			13 (1)	10 (1)	2	25 (2)	26 (4)	2	2	30 (4)	11 (1)	9	2	22 (1)	20 (4)	2	2	24 (4)
(4)		店 舗			44 (2)	8	1	53 (2)	21	5	1	27	43 (2)	8	1	52 (2)	18	5	1	24
(5)	イ	旅 館 ・ ホ テ ル			19	2	15	36	1		2	3	19	2	15	36	1		2	3
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅			9		1	10					6		1	7				
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所			8	2		10	1			1	7	2		9	1			1
	ロ	自力避難困難者入所福祉施設			12	3	4	19					12	3	4	19				
	ハ	老人・児童福祉施設			21	8 (1)	4	33 (1)	3	1		4	19	8 (1)	4	31 (1)	3	1		4
	ニ	幼 稚 園			2			2					2			2				
(7)		小 中 高 等 学 校			18	2	2	22					18	2	2	22				
(8)		図 書 館 ・ 博 物 館			4	5 (1)	2	11 (1)	1	1		2	4	4 (1)	2	10 (1)	1	1		2
(9)	イ	蒸気浴場・熱気浴場																		
	ロ	公 衆 浴 場			1	1		2			1	1	1	1		2			1	1
(10)		車両の停車場・航空機発着場																		
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会			15	3		18	1	1	3	5	15	3		18	1	1	3	5
(12)	イ	工 場 ・ 作 業 場			39	3	3	45					38	3	3	44				
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ																		
(13)	イ	自動車車庫・駐車場																		
	ロ	飛 行 機 の 格 納 庫																		
(14)		倉 庫			3		1	4					3		1	4				
(15)		前各項に該当しない事業場			40 (2)	6	5	51 (2)	8		1	9	36 (2)	6	5	47 (2)	8		1	9
(16)	イ	複合用途の特定用途防火対象物			62 (22)	20 (2)	8	90 (24)	16 (7)	1		17 (7)	39 (19)	18 (2)	8	65 (21)	7 (6)	1		8 (6)
	ロ	複合用途の非特定用途防火対象物			7 (3)			7 (3)					4 (3)			4 (3)				
(17)		文 化 財 建 造 物			3	2		5					3	2		5				
合 計					374 (30)	80 (5)	55	509 (35)	118 (11)	29	25	172 (11)	327 (27)	75 (4)	55	457 (31)	100 (10)	29	25	154 (10)

- (注) 1 法第 8 条とは、防火管理者を選任し届出を要する防火対象物で、特定防火対象物は収容人員 30 人以上（6 項ロを含む防火対象物にあっては 10 人以上）、普通防火対象物は収容人員 50 人以上
- 2 甲種とは、延べ面積が特定防火対象物 300 m²以上（6 項ロを含む防火対象物にあっては全て）、その他 500 m²以上のもの。乙種とは、甲種以外のもの
- 3 ()内は複数権原の防火対象物

用途別中高層建築物一覧表

(2024年4月1日現在)

階層別			3階				4階				5階				6階				7階	8階	9階	10階	合 計			
防火対象物		市町村別	須坂	小布施	高山	計	須坂	小布施	高山	計	須坂	小布施	高山	計	須坂	小布施	高山	計	須坂	須坂	須坂	須坂	須坂	小布施	高山	計
(1)	ロ	公会堂・集会場	2	1		3																	2	1		3
(2)	ニ	カラオケボックス	1			1																	1			1
(3)	ロ	飲 食 店	7			7																	7			7
(4)		店 舗	5			5																	5			5
(5)	イ	旅館・ホテル	5	1	4	10	1	1	2	4	1			1			2	2					7	2	8	17
	ロ	寄宿舎・共同住宅	58	1	1	60	2		1	3	14			14	1			1	1				76	1	2	79
(6)	イ	病院・診療所	3			3	1	1		2	1			1					2				7	1		8
	ロ	自力困難者入所福祉施設	1	1		2																	1	1		2
	ハ	老人・児童福祉施設																								
(7)		小中高等学校	20	4	2	26	4			4													24	4	2	30
(8)		図書館・博物館	1			1																	1			1
(9)	ロ	公 衆 浴 場		1		1																		1		1
(12)	イ	工場・作業場	19	5		24	5	1		6	1			1									25	6		31
(13)	イ	自動車車庫・駐車場	3			3																	3			3
(14)		倉 庫	12		2	14	1			1													13		2	15
(15)		前各項に該当しない事業場	25	1	1	27	6			6	2			2									33	1	1	35
(16)	イ	複合用途の特定防火対象物	32	6	2	40	3	1		4	2			2	2			2			1	1	41	7	2	50
	ロ	複合用途の非特定防火対象物	15	3	4	22	3			3	2			2									20	3	4	27
合 計			209	24	16	249	26	4	3	33	23			23	3		2	5	3		1	1	266	28	21	315

届出事務処理状況

(2023 年度)

(1) 消防用設備等着工届出

設 備 名	届 出
ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	1
屋 内 消 火 栓 設 備	3
屋 外 消 火 栓 設 備	3
移 動 粉 末 消 火 設 備	
動 力 消 防 ポ ン プ 設 備	1
自 動 火 災 報 知 設 備	23
消防機関へ通報する火災報知設備	1
避 難 器 具	
パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備	2
パ ッ ケ ー ジ 型 自 動 消 火 設 備	1

(2) 消防用設備等設置届及び検査

設 置 数	設置届出	検 査
消 火 器	31	20
ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	2	1
屋 内 消 火 栓 設 備	5	5
屋 外 消 火 栓	2	2
動 力 消 防 ポ ン プ 設 備	1	1
ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備		
移 動 粉 末 消 火 設 備		
不 活 性 ガ ス 消 火 設 備	1	1
自 動 火 災 報 知 設 備	57	32
消防機関へ通報する火災報知設備	2	2
非 常 警 報 設 備	5	2
非 常 放 送 設 備	4	3
ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 器		
避 難 器 具		
誘 導 灯	44	19
誘 導 標 識	7	3
消 防 用 水		
パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備	2	2
パ ッ ケ ー ジ 型 自 動 消 火 設 備	1	1

(3) 各種届出等の受付状況

届 出 等 の 区 分	須坂	小布施	高山	計
消 防 計 画 作 成 (変 更) 届	146	30	22	198
防 火 管 理 者 選 任 (解 任) 届	115	16	19	150
消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告	728	170	129	1,027
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始（廃止）届	11	1	3	15
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	36	10	3	49
炉・暖房設備・温風暖房機等設置届	31	4	2	37
燃料電池・発電・変電・蓄電池設備設置届	13	1	4	18
ネオン管灯設備設置届				
水素ガスを充てんする気球の設置届				
火災とまぎらわしい煙等届	1,763	447	333	2,543
煙火打上げ仕掛け届	61	9	19	89
共同防火管理協議事項作成（変更）届出書				
水 道 断 減 水 届	8	16		24
道 路 工 事 届	575	196	103	874
消 防 訓 練 実 施 通 知 書	366	96	65	527
少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱い届	9	3	2	14
少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱い廃止届	8	2	3	13
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告	53	8	13	74
統括防火・防災管理者選任（解任）届	1			1
全体についての消防計画作成（変更）届	3			3
露 店 等 の 開 設 届 出 書	20	6	2	28

建 築 同 意

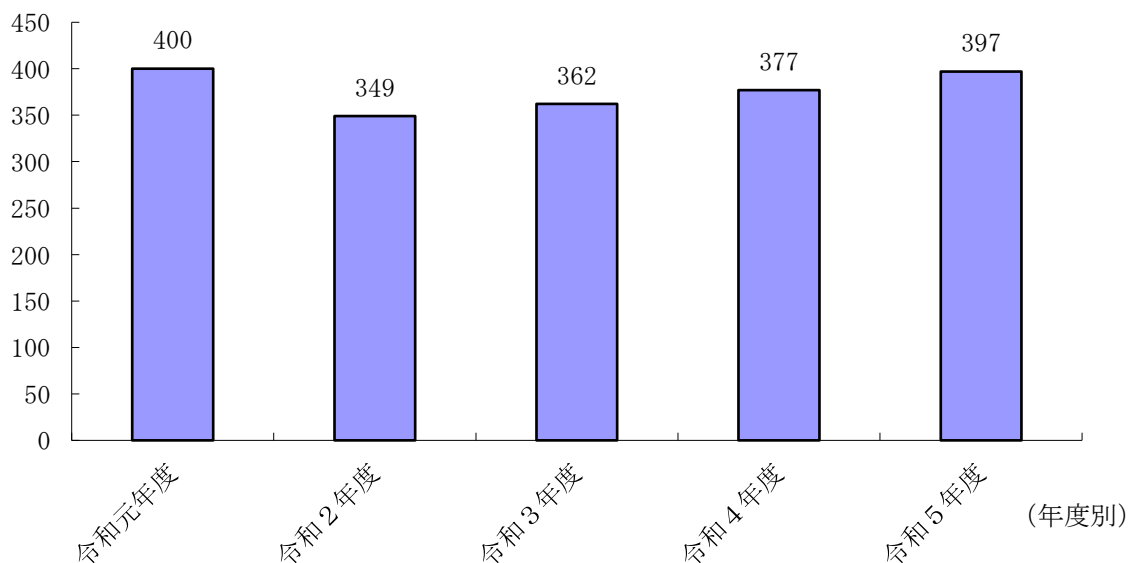
(2023 年度)

(1) 月別建築同意

工事別 月別	計	新築	増築	改築	移転	模様替	用途変更	修繕	その他
4	8	6	2						
5	5	2		3					
6	8	5	2	1					
7	8	1	6				1		
8	11	9	2						
9	14	11	2	1					
10	3	2	1						
11	16	12	4						
12	5	4	1						
1	8	6	1			1			
2	18	14	1	3					
3	14	12	2						
小 計	118	84	24	8		1	1		
計画通知	279	建築基準法第 93 条第 4 項通知 (一般住宅)							
合 計	397								

(2) 過去 5 年間建築同意 (計画通知含む)

(件数)



(3) 用途別建築同意

(2023 年度)

工事別			計	新築	増築	改築	移転	用途変更	修繕	その他
区分	用途別									
(1)	イ	劇場、映画館、観覧場等								
	ロ	公会堂又は集会場								
(2)	イ	キャバレー、カフェー等								
	ロ	遊技場又はダンスホール								
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等								
	ニ	カラオケボックス等								
(3)	イ	待合、料理店等								
	ロ	飲食店	2	1	1					
(4)		百貨店、店舗又は展示場	5	5						
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	1	1						
	ロ	寄宿舎、共同住宅等								
(6)	イ	病院、診療所等	2	2						
	ロ	老人ホーム等								
	ハ	老人デイサービスセンター等								
	ニ	幼稚園等								
(7)		小、中、高等学校、大、各種学校等	1		1					
(8)		図書館、美術館等								
(9)	イ	蒸気浴場、熱気浴場等								
	ロ	上記以外の公衆浴場								
(10)		車両の停車場、航空機等発着場	3	3						
(11)		神社、寺院、教会等								
(12)	イ	工場又は作業場	12	7	5					
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ								
(13)	イ	自動車車庫又は駐車場	12	9	1	2				
	ロ	飛行機等の格納庫								
(14)		倉庫	19	12	7					
(15)		前各項に該当しない事業場	23	15	2	5				1
(16)	イ	複合（特定防対が供するもの）	3	2				1		
	ロ	複合（上記以外）	2	2						
その他		エレベーター等								
		住宅等	33	19	11	3				
小計			118	78	28	10		1		1
計画通知			279							
合計			397							

危険物製造所等累年比較表

(完成検査済証交付施設)

(2024 年 4 月 1 日現在)

区分 \ 年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貯蔵所	屋内貯蔵所	27	26	26	27	27
	屋内タンク貯蔵所	7	7	7	7	7
	屋外タンク貯蔵所	10	9	9	9	9
	地下タンク貯蔵所	99	99	92	92	90
	簡易タンク貯蔵所	7	7	7	7	6
	移動タンク貯蔵所	48	48	52	49	47
	屋外貯蔵所	1	1	1	1	1
	小計	199	197	194	192	187
取扱所	給油取扱所 (自家用)	36 (14)	36 (14)	36 (14)	35 (14)	34 (14)
	一般取扱所	41	41	41	42	41
	小計	77	77	77	77	75
合 計		276	274	271	269	262

数量別危険物製造所等及び立入検査実施状況

(2024 年 4 月 1 日現在)

区分		数量別							施設数	立入検査 実施数
		5倍以下	5倍超え 10倍以下	10倍超え 50倍以下	50倍超え 100倍以下	100倍超え 150倍以下	150倍超え 200倍以下	200倍超え 千倍以下		
貯蔵所	屋 内 貯 蔵 所	15	8	4					27	4
	屋内タンク貯蔵所	4	1	2					7	1
	屋外タンク貯蔵所	7	2						9	1
	地下タンク貯蔵所	45	24	17	2	1		1	90	15
	簡易タンク貯蔵所	5	1						6	3
	移動タンク貯蔵所	44	1			2			47	3
	屋 外 貯 蔵 所		1						1	1
	小 計	120	38	23	2	3		1	187	28
取扱所	給 油 取 扱 所 (自 家 用)		1 (1)	12 (12)	1 (1)	3	3	14	34 (17)	5
	一 般 取 扱 所	15	11	13	1	1			41	10
	小 計	15	12	25	2	4	3	14	75	15
合 計		135	50	48	4	7	3	15	262	43

火 災 発 生 状 況

(2023 年)

区分 月	火 災					焼 損 棟					焼 損 面 積		
	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	建 物 m ²		林 野 a
											床面積	表面積	
1	2	2				2		1		1	26.48		
2	1				1								
3	5	3			2	3	1		2		10.6	14.09	
4	4	1			3	1	1				133.08		
5	1	1				1		1			30.24		
6													
7	1	1				4	1		3		119.66	7.91	
8	5	2			3	2		2			150.87		
9													
10	2	2				2	2				881.1		
11													
12	3	2			1	2	1		1		5.31	1	
合計	24	14			10	17	6	4	6	1	1357.34	23	

区分 月	り 災 世 帯				り 災 者	死傷者		損害見積額（千円）					
	合 計	全 損	半 損	小 損		死 者	負 傷 者	合 計	建 物	収 容 物	林 野	車 両	そ の 他
1	1		1		3		3	1,916	1,224	692			
2													
3	1			1	3			66	51	11			4
4	1	1			1		1	2,485	1,710	761			14
5	1		1		1			18,316	17,040	1,276			
6													
7	4	1		3	9		2	20,758	18,130	1,670		269	689
8	3	1	2		4		1	6,826	6,217	262			347
9													
10	1	1			2			47,495	25,534	20,642			1,319
11													
12	1			1	1			1,056	866	1			189
合計	13	4	4	5	24		7	98,918	70,772	25,315		269	2,562

原因別火災状況

年次別 原因別		令和5年				過去5年（件）				
		件数	損害額 (千円)	死者	負傷者	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年	平成30年
たばこ		1	3				1	3	1	2
こんろ		3	4,748					3		
かまど										1
風呂かまど							1		1	
炉								1		
焼却炉										
ストーブ		1	2,471				1	3	1	
こたつ				1	1	1				
ボイラー										
煙突・煙道										
電気機器									1	
電気装置		1	189							
電灯・電話等の配線										
内燃機関										
配線器具		2	2,263					2	2	3
火あそび								1		2
マッチ・ライター									1	
たき火		8	2,073			3	9	16	5	14
溶接機・切断機								1		2
線香		1	20,775							
灯火							1			1
衝突の火花							3		3	
取灰		1	14				2		1	1
火入れ										
放火					1	2	1			
放火の疑い							1	1		2
その他		1	18			1	1	1	5	4
不明		5	66,381			1	4	6	3	5
合計		24	98,935	1	2	8	25	38	24	37
出火率	須高地区	3.6				1.2	3.7	5.6	3.5	5.4
	長野県	4.2				3.6	3.8	3.8	4.3	4.6

「出火率」は、人口1万人当たりの出火件数

令和 5 年 火 災 状 況

番号	出火日時		種 別	場 所	出火原因
1	1 月 21 日	18 時 05 分	建物	須坂市大字豊丘(豊丘町)	配線器具
2	1 月 24 日	16 時 24 分	建物	上高井郡小布施町大字小布施(上町)	コンロ
3	2 月 28 日	14 時 30 分	その他	上高井郡小布施町大字中松(松村)	たき火
4	3 月 1 日	13 時 10 分	その他	須坂市大字小河原(新田町)	不明
5	3 月 12 日	13 時 40 分	建物	須坂市大字日滝(相森町)	たき火
6	3 月 19 日	11 時 30 分	建物	須坂市田の神(田の神町)	収れん
7	3 月 21 日	7 時 20 分	その他	上高井郡小布施町大字大島(大島)	たばこ
8	3 月 21 日	14 時 30 分	建物	須坂市大字小河原(南小河原町)	たき火
9	4 月 6 日	10 時 30 分	その他	上高井郡高山村大字高井(荒井原)	たき火
10	4 月 20 日	11 時 30 分	その他	須坂市大字日滝(本郷町)	たき火
11	4 月 24 日	7 時 00 分	その他	須坂市大字野辺(野辺町)	取灰
12	4 月 27 日	12 時 56 分	建物	須坂市臥竜二丁目(小山町)	ストーブ
13	5 月 19 日	9 時 30 分	建物	須坂市大字野辺(村石町)	不明
14	7 月 31 日	18 時 50 分	建物	須坂市臥竜一丁目(北原町)	線香
15	8 月 13 日	11 時 15 分	その他	上高井郡高山村大字中山(中原)	たき火
16	8 月 17 日	11 時 55 分	その他	上高井郡小布施町大字北岡(北岡)	配線器具
17	8 月 19 日	17 時 45 分	建物	上高井郡高山村大字高井(紫)	コンロ
18	8 月 19 日	18 時 30 分	建物	須坂市墨坂五丁目(屋部町)	たき火
19	8 月 26 日	14 時 45 分	その他	上高井郡高山村大字中山(駒場)	たき火
20	10 月 8 日	16 時 40 分	建物	須坂市大字小河原(光ヶ丘ニュータウン)	不明
21	10 月 22 日	19 時 30 分	建物	須坂市大字日滝(相森町)	不明
22	12 月 3 日	17 時 50 分	建物	上高井郡小布施町大字都住(六川)	コンロ
23	12 月 27 日	13 時 55 分	建物	上高井郡小布施町大字大島(大島)	不明
24	12 月 28 日	20 時 00 分	その他	須坂市大字幸高(幸高町)	電気装置

歴 年 火 災 発 生 状 況

年	区分	件 数					死 者 (人)	負傷者 (人)	損害額 (千円)
		計	建 物	林 野	車 両	その他			
昭和 30		8	8					5	4,704
31		5	5					1	91
32		14	13		1		1	3	2,130
33		5	5					3	4,802
34		15	11		1	3		2	60,446
35		11	8	1		2		5	4,328
36		10	9	1				7	6,733
37		16	16					2	9,958
38		13	13					2	16,590
39		9	8	1				3	2,799
40		10	9	1				2	12,711
41		11	11				1	5	31,109
42		5	5						4,864
43		8	8				2		4,085
44		11	11					1	22,666
45		8	8					2	6,863
46		6	5			1			4,364
47		14	14					5	9,201
48		12	10	1		1	1	5	18,957
49		6	6					1	16,668
50		9	7			2	2		20,058
51		14	13			1	2	4	17,870
52		18	14		4				54,104
53		14	12		1	1			14,998
54		12	12				1	7	61,889
55		5	5				1	1	10,693
56		12	9		2	1		3	34,071
57		15	14			1	1	1	105,240
58		9	9					4	58,955
59		12	12						9,247
60		7	5			2	2	1	12,822
61		13	12		1			6	107,337
62		11	10			1	1	3	145,218

区分 年	件 数					死 者 (人)	負傷者 (人)	損害額 (千円)
	計	建 物	林 野	車 両	その他			
昭和 63	20	17		3		2	4	174,434
平成元	11	9	2				1	124,234
2	20	18	2			1	3	55,378
3	10	8	1		1		1	8,129
4	19	13		3	3	4		59,921
5	10	9	1				5	19,017
6	25	15	2	5	3	3	1	96,034
7	28	22	1	2	3	3	7	130,169
8	31	25		4	2	3	6	236,665
9	22	13		5	4		2	97,833
10	26	20		1	5	1	3	146,376
11	21	12	2	4	3	1	5	90,634
12	24	14		3	7	1	2	53,654
13	31	19	2	3	7	3	7	89,477
14	24	15	1	4	4		5	28,373
15	23	11		7	5	1	1	68,183
16	20	14	2	1	3	1	5	41,511
17	40	21		5	14	1	2	54,940
18	24	13		3	8	2	4	86,397
19	29	15		1	13		4	115,039
20	37	18	1		18		2	38,631
21	29	15	1	5	8	1	3	38,328
22	23	12		3	8	1	1	57,389
23	37	21	3	2	11	1	4	85,002
24	30	13	1	2	14	1	3	25,305
25	49	18	2	4	25	3	8	61,607
26	27	10		2	15	1	4	59,720
27	26	11	1		14		14	56,355
28	22	11		1	10		2	20,535
29	28	12		3	13	2	2	22,898
30	37	16		3	18	6	1	37,688
令和元	24	12		3	9		2	13,866
2	38	17		1	20	2	8	24,363
3	25	13	2	4	6	1	5	64,026
4	8	2			6	1	2	6,556
5	24	14			10		7	98,935

広報、職場体験・見学、訓練指導、講習会実施状況

(2023 年度)

(1) 広報

内 容	期 間
春 の 特 別 火 災 予 防 運 動	4 月 13 日 ～ 17 日
危 険 物 安 全 週 間	6 月 4 日 ～ 10 日
防 災 の 日	9 月 1 日
救 急 の 日	9 月 9 日
秋 の 火 災 予 防 運 動	11 月 9 日 ～ 15 日
春 の 火 災 予 防 運 動	3 月 1 日 ～ 7 日
火 災 気 象 通 報 発 表	発表時

(2) 職場体験

見 学 日	時 間	対 象	体験者	体験場所
5 月 25 日	8 : 30～16 : 00	高山中学校	2	高山分署
6 月 30 日	8 : 30～17 : 15	長野救命医療専門学校	2	須坂市消防署
7 月 27 日	8 : 30～17 : 15	須坂東高等学校	1	須坂市消防署
8 月 4 日	8 : 30～17 : 00	須坂高等学校	1	須坂市消防署
9 月 4 日～5 日	8 : 30～16 : 00	小布施中学校	3	小布施分署

(3) 職場見学

見 学 日	時 間	見学対象	見学者	引率者
5月24日	11:00～11:40	東部児童センター	20	1
6月29日	10:00～11:00	マリアこども園	36	2
9月5日～7日	9:45～10:30	栗ガ丘小学校	101	4
9月19日	9:00～10:00	高山小学校	36	3
9月25日	11:15～11:50	長野養護学校すざか分教室	7	3
9月27日	10:30～11:15	南部児童センター	19	1
9月30日	13:00～14:00	ココモネ	11	2
10月3日	9:00～10:30	高甫小学校	29	2
10月13日	10:20～11:10	須坂支援学校	5	4
11月6日	10:00～11:00	マリアこども園	36	4
11月8日	10:30～11:30	泉園幼稚園	14	3
11月15日	11:00～11:45	中央児童センター	40	2
11月20日	10:15～11:30	須坂双葉幼稚園	34	4
11月21日	13:30～14:30	仁礼小学校	24	2
11月22日	9:30～11:10	小山小学校	67	4
11月29日	9:30～10:30	森上小学校	23	1
12月1日	9:00～11:30	日野小学校	51	4
12月8日	9:30～10:30	森上小学校	24	1
12月15日	9:00～10:00	豊洲小学校	24	2
2月13日	9:30～10:30	豊丘小学校	7	1
2月26日	9:15～11:45	井上小学校	42	3
2月28日	8:55～12:00	日滝小学校	65	3
3月19日	10:30～11:30	放課後デイサービスみんなのむむ	20	12

(4) 月別自主防災組織、事業場等の防火訓練指導

須坂市	月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	件 数	12	4	5	7	3	11	12	13	1		1	3	72
	派遣人員	21	8	11	13	5	20	29	26	2		2	6	143
	参加人員	2,986	835	124	297	204	1,209	2,154	1,541	30		80	65	9,525
小布施町	月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	件 数	1	1	2		1	2	4	2	1		1		15
	派遣人員	4	5	8		5	9	20	10	5		1		67
	参加人員	20	20	78		19	417	156	863	60		10		1,643
高山村	月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	件 数	2	2	2	2	1	1	5		1		1	1	18
	派遣人員	6	10	9	7	2	4	7		4		4	1	54
	参加人員	203	297	51	34	44	279	294		16		36	42	1,296

警 防



長野県消防防災航空隊との合同訓練

消 防 車 両 配 備 状 況

(2024 年 4 月 1 日現在)

所属	車 両 名	登録番号 登録年月日	台車名	規格・機能	車 両 総 重 量 (kg)	総排 気量 (ℓ/分)	定員 (人)		燃料	備 考
消 防 本 部 ・ 消 防 署	須坂指令1号車	長野800す1472 H25. 9. 27	トヨタ ハイエース	普通車	2, 630	2. 69	10		無鉛	
	須坂指令2号車	長野800す6530 R5. 12. 15	トヨタ タウンエース	普通車	2, 180	1. 49	5		無鉛	
	須坂指令3号車	長野800す5935 R4. 9. 20	トヨタ RAV4	普通車	1, 885	1. 98	5		無鉛	
	須坂タンク1号車	長野800は762 H22. 3. 29	日野 レンジャー	水ⅠA型 A2級1.5t水	9, 820	6. 40	6		軽油	CAFS装置付
	須坂ポンプ2号車	長野800す2529 H27. 11. 5	日野 デュトロ	CDⅠ型 A2級0.6t水	6, 735	4. 00	5		軽油	緊急消防援助隊登録 CAFS装置付
	須坂ポンプ3号車	長野800す3410 H29. 9. 20	日野 デュトロ	CDⅠ型 A2級0.6t水	6, 925	4. 00	5		軽油	緊急消防援助隊登録 CAFS装置付
	須坂救助1号車	長野800は1061 H. 27. 3. 25	日野 レンジャー	救助Ⅱ型	10, 845	6. 40	5		軽油	緊急消防援助隊登録
	須坂化学1号車	長野800は1181 H28. 12. 12	日野 レンジャー	化Ⅱ型 A2級1.5t水 0.5t泡薬剤	10, 880	6. 40	6		軽油	緊急消防援助隊登録 CAFS装置付
	須坂水槽1号車	長野800は1180 H28. 12. 12	日野 プロフィア	水槽Ⅱ型 水10t積載	21, 520	8. 86	2		軽油	緊急消防援助隊登録
	須坂屈折1号車	長野800は1467 R3. 10. 29	日野 プロフィア	25m級 (地上25m)	16, 690	8. 86	6		軽油	
	救急須坂1号車	長野800す4469 R1. 11. 22	トヨタ ハイメディック	高規格	3, 205	2. 69	7		無鉛	緊急消防援助隊登録
	救急須坂2号車	長野800す2136 H27. 3. 13	トヨタ ハイメディック	高規格	3, 255	2. 69	7		無鉛	
	救急須坂3号車	長野800す4032 H30. 12. 3	トヨタ ハイメディック	高規格	3, 235	2. 69	7		無鉛	
	須坂支援1号車	長野800す1471 H25. 9. 27	トヨタ ダイナ	トラック	6, 295	4. 00	3		軽油	
	防 災 指 導 車	長野800す2573 H27. 11. 25	トヨタ レジアスエース	普通車	3, 295	2. 69	6		無鉛	(公財) 日本消防協会寄贈
小 布 施 分 署	小 布 施 1 号 車	長野800す5103 R2. 12. 22	トヨタ プロボックス	普通車	1, 685	1. 49	5		無鉛	
	救急小布施1号車	長野800す4031 H30. 12. 3	トヨタ ハイメディック	高規格	3, 235	2. 69	7		無鉛	
	小布施ポンプ1号車	長野800さ8175 H19. 10. 5	日野 デュトロ	CDⅠ型 A2級	4, 980	4. 00	6		軽油	
	小布施タンク1号車	長野800す4405 R1. 10. 18	日野 デュトロ	CDⅠ型 A2級0.6t水	6, 905	4. 00	5		軽油	CAFS装置付
高 山 分 署	高 山 1 号 車	長野800さ8153 H19. 9. 26	マツダ ファミリアバン	普通車	1, 760	1. 76	5		無鉛	
	救急高山1号車	長野800す6516 R5. 12. 5	トヨタ ハイメディック	高規格	3, 255	2. 69	7		無鉛	
	高山ポンプ1号車	長野800す5933 R4. 9. 16	日野 デュトロ	CDⅠ型 A2級0.6t水	6, 985	4. 00	5		軽油	CAFS装置付

通 信 施 設 状 況

(2024 年 4 月 1 日現在)

種 別			数 量	適 用	
消防緊急通信指令施設	指 令 台		2 台	119番受付回線 ISDN 4 回線（IP電話 4 社、FAX含む）、携帯電話 ISDN 4 回線、携帯転送 2 回線、衛星電話 1 回線 指令回線 デジタル 2 回線 東日本高速道路株式会社専用回線 1 回線 支援情報検索処理装置 2 台、地図等検索装置 2 台 位置情報通知システム（統合型） 1 式、録音装置 1 式 署所端末装置・指令電送出力装置 3 式 災害状況等自動案内装置 1 式	
	無 線 統 制 台		7装置	高機能遠隔制御装置 4 装置 簡易型遠隔制御装置 2 装置 アナログ無線遠隔制御装置 1 装置	
	表 示 盤		8 台	液晶42型(総合情報表示盤 1 台、多目的表示盤 2 台) 情報収集表示盤（液晶22型 4 式） 2階事務室75型LCD表示盤 1 台	
	動 画 伝 送 装 置		1 式	スマートフォン、タブレット、現場中継システム	
	気 象 観 測 装 置		1 式		
無線電話	デ ジ タ ル 無 線	基 地 局		7 装置	消防本部局 2 波(活動波 1、2、予備) 3 装置 坂中中継局 5 波(活動波 1、主運用波、統制波 3 波) ※現用、予備、主運用波(長野市)、統制波(長野市) 4 装置
		移 動 局	卓上型可搬	2 装置	小布施・高山分署各 1 装置
			車 載 型	23装置	本部16装置、小布施分署 4 装置、高山分署 3 装置
			携 帯 型	40装置	本部26装置、小布施分署 8 装置、高山分署 6 装置
	ア ナ ロ グ 無 線	基 地 局		1 装置	本部 1 波（相互防災波）装備
		移 動 局	携 帯 局	2 装置	1 波（相互防災波）装備
			特定小電力	23装置	9 c h 装備 須坂11 小布施 7 高山 5
	須坂市防災行政無線		1 式	遠隔制御器	
	長野県防災行政無線		1 式		
有線電話	普 通 加 入 電 話		12回線	I S D N 2 回線、光電話 1 回線（9チャンネル）、メタル 1 回線	

※ デジタル無線主運用波・統制波用装置は長野市と共同運用

1 1 9 番 覚 知 別 状 況

(2023 年度)

月	当月 総数 A+B	災害通報								
		小計 A	駆込み	119	一般電話	無線	高速専用	携帯 119	事後覚知	その他
4	369	279	3	114	30	2		130		
5	382	291	1	148	27			115		
6	398	286	1	130	41			114		
7	466	352	1	147	36	1		167		
8	428	352		160	41	2		149		
9	385	279	1	134	20	2		122		
10	463	337		159	35	2		140		1
11	413	332	2	164	31	1		134		
12	375	310	4	152	21	1		132		
1	382	329		177	22			130		
2	392	312		161	25	2		124		
3	398	297		126	36	3		132		
計	4,851	3,756	13	1,772	365	16		1,589		1
%		77.43	0.27	36.53	7.52	0.33		32.76		0.02

月	その他							
	小計 B	いたずら	まちがい	病院照会	試験	訓練	転送	その他
4	90		29	2	22	25	3	9
5	91	1	33	1	19	17	9	11
6	112		47	1	20	23	3	18
7	114		52	5	12	15	10	20
8	76		26		11	7	10	22
9	106		32	4	33	28	2	7
10	126		24		35	45	5	17
11	81		14	2	7	33	7	18
12	65		20	1	12	15	10	7
1	53		23	1	6	8	9	6
2	80		22	1	30	6	12	9
3	101		30		30	16	13	12
計	1,095	1	352	18	237	238	93	156
%	22.57	0.02	7.26	0.37	4.89	4.91	1.92	3.22

無線とは、出動隊からの消防救急無線による通報

消 防 水 利 の 状 況 (須 坂 市)

(2024 年 4 月 1 日現在)

(1) 水利現況

(単位：基)

区 分		消火栓	防火水槽	その他 (プール等)	計	充足率
基準現有別						
基準適合実水利数		1, 372	212	11	1, 595	94. 3%
基 準 数	(メ ッ シ ュ 法)	821				
現 有 数		774				
不 足 数		47				

(2) 防火水槽及びその他水利

(単位：基)

区 分	防火水槽 (単位：基)			その他水利 (基準適合箇所数)		
	40m ³ 以上	20m ³ 以上 40m ³ 未満	計	河川溝等	プール	濠池等
公 設	212	17	229			
私 設	38	2	40			
計	250	19	269		11	1

(3) 配水管口径別、分団区域別消火栓設置数及び地上式消火栓設置数

(単位：基)

配水管径 分団名	300mm	250mm	200mm	150mm	125mm	100mm	75mm	50mm	計	地上 式消 火栓
第 1 分 団	4	15	21	22	2	52	31		147	36
第 2 分 団		8	6	38		72	52		176	25
第 3 分 団	3	10	2	80		101	60		256	61
第 4 分 団		1	10	87		112	94		304	57
第 5 分 団			2	109		107	86		304	84
第 6 分 団		2	16	43		84	77		222	70
第 7 分 団		5	16	85	1	61	104		272	87
第 8 分 団	1		4	74		45	67		191	75
第 9 分 団			6	48		28	38	1	121	75
第 10 分 団			1	45		76	62		184	85
第 11 分 団				30	1	74	32		137	27
峰の原高原				11		72	15		98	97
合 計	8	41	84	672	4	884	718	1	2,412	779

水防施設資材等の状況

(2024年4月1日現在)

(1) 水防倉庫

名 称	所在地	構造等	管理	建設年度	延床面積等
消防本部	小山 1306	鉄筋コンクリート一部鉄骨造	市	H5. 9	訓練塔内
小山	小山字前河原 1001-3	木造鉄板葺板張り	市	H10. 2	33.12 m ²
境 沢	小山字入河原 1918-15	木造鉄板葺板張り	国	S36. 10	33.05 m ²
大 谷	日滝字郷原 5506-2	鉄骨造鉄板葺サイディング張り	市	S58. 4	9.91 m ²
本 郷	日滝字郷原 495-1	鉄骨造カラー鋼板ルーフデッキ	市	H29. 12	9.30 m ²
新 田	小河原字松川 4017-6	鉄骨造鉄板葺鉄板張り	市	S62. 3	32.40 m ²
相之島	相之島字長土府 1033-2	木造鉄板葺鉄板張り	国	H4. 12	32.40 m ²
村 山	村山 473-2	木造鉄板葺鉄板張り	国	H13. 12	33.12 m ²
福 島	福島字屋敷割 1087-2	軽量鉄骨平屋建カラー鉄板葺	国	H22. 3	33.40 m ²
中 島	中島字砂間土手外 1236-2	木造トタン葺	市	S26. 8	41.32 m ²
米 持	米持字木瓜原 156-8	木造鉄板葺サイディング張り	国	H8. 11	33.12 m ²
上八町	八町字戸谷 1007-2	木造鉄板葺サイディング張り	市	H7. 12	33.10 m ²
下八町	八町字前山 2322-7	鉄骨造鉄板葺サイディング張り	市	S62. 3	32.40 m ²
仁礼町	仁礼字河原 544-1. 4. 5	木造鉄板葺鉄板張り	市	H4. 3	32.40 m ²
豊 丘	豊丘 326- 1	鉄筋コンクリート	市	H23. 1	27.38 m ²

(2) 水防用砂備蓄

場 所	備蓄量 (m ³)	場 所	備蓄量 (m ³)
消 防 本 部	15.5	村 山 集 荷 場	25.0
小 山 倉 庫	10.0	村 山 水 防 倉 庫	2.0
境 沢 水 防 倉 庫	2.0	米 持 町 育 成 広 場	2.5
大 谷 町 中 央 付 近	12.0	上 八 町 水 防 倉 庫	1.5
永 楽 荘	54.0	下 八 町 水 防 倉 庫	1.8
小 島 墓 地 入 口	8.0	仁 礼 水 防 倉 庫	20.0
河 東 相 之 島 神 社 北	4.0	豊 丘 水 防 倉 庫	2.5
相 之 島 水 防 倉 庫	4.0	こ も れ び ホ ー ル	5.0
		計	169.8

(3) 水防用資材

資材 倉庫	土のう袋 (枚)	鉄線 (kg)	蛇籠 (本)	木材4 ^号 もの (本)	木材2 ^号 もの (本)	木材その他 (本)	竹 (本)	ロープ (巻)	鉄杭 (本)	ビニールシート	塩ビパイプ	竹ざる	鉄ワイヤー
消防本部	9,000							1	130	40			
小 山	2,300	550	35	25	19	24		2	50	6			
境 沢	1,000	350	12	23	100	10	6		10	6			
大 谷	2,800	100			80			2	20	7			
本 郷	3,500					2		2	20	1			
新 田	2,000	350	6	31	187	4		4	10	6			
相之島	3,300	100		22	100		84	8	100	25	5		3
村 山	6,000	100	19	3	120	10	30	2	116	35	14		5
福 島	4,300	120		14	95	35	29	6	55	29	5	30	
中 島	3,200	50							133	9	2		8
米 持	1,800	450	50	30	120			3	82	13			
下八町	5,100	200	30	24	40	48	22	2	18	5			
上八町	2,000	400	40	40	100	100	3	2	20	6			
仁 礼	3,982	2250	14		2	2		2		5			48
豊 丘	5,000	200			41	12		1	10	1			
計	55,282	5,220	206	212	1,004	247	174	37	774	194	26	30	64

救 急 出 動

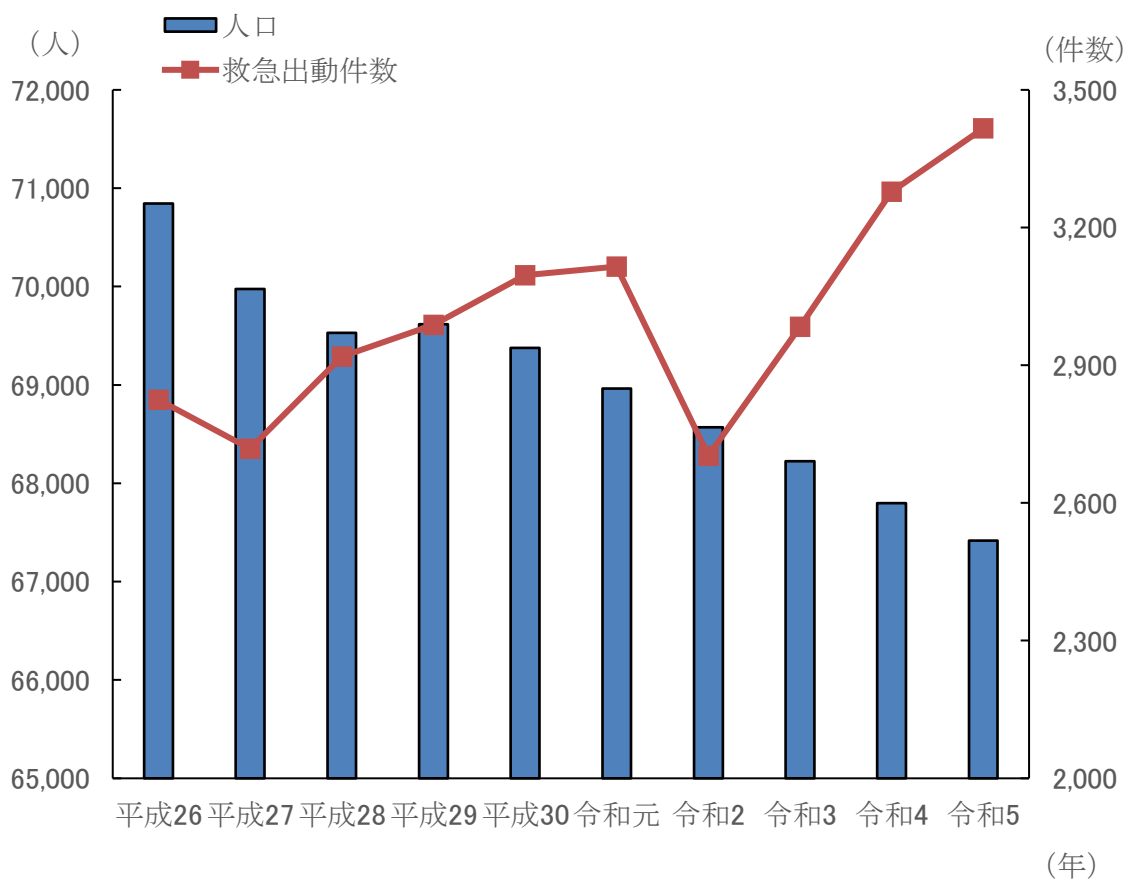
(1) 事故種別出動状況

(2023 年)

事故種別 区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計
出動件数	6			175	25	15	566	9	30	2,326	264	3,416
搬送件数	5			167	25	15	552	8	16	2,244	246	3,278
不 搬 送	1			8			14	1	14	82	18	138
搬送人員	7			187	25	15	554	9	16	2,245	246	3,304

(2) 過去 10 年間の人口と救急件数の推移（人口は 1 月 1 日時点の数）

	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和 元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
人 口	70,846	69,975	69,529	69,619	69,375	68,962	68,569	68,225	67,799	67,418
救急出動件数	2,825	2,718	2,919	2,988	3,096	3,115	2,703	2,984	3,278	3,416



(3) 歴年救急出動状況

区分 年	出 動 件 数			搬 送 人 員			摘 要
	年 間	1月平均	1日平均	年 間	1月平均	1日平均	
昭和41年	55	4.6	0.2	42	3.5	0.1	1月 救急業務開始（松代地震対策）
42	69	5.8	0.2	62	5.2	0.2	
43	110	9.2	0.3	106	8.8	0.3	4月 救急業務政令指定
44	173	14.4	0.5	165	13.8	0.5	1月 須高地区救急応援協定締結
45	255	21.3	0.7	262	21.8	0.7	8月 2台目を配備
46	313	26.1	0.9	308	25.7	0.8	
47	399	33.3	1.1	392	32.7	1.1	
48	477	39.8	1.3	475	39.6	1.3	
49	542	45.2	1.5	531	44.3	1.5	
50	507	42.3	1.4	490	40.8	1.3	
51	624	52.0	1.7	610	50.8	1.7	
52	615	51.3	1.7	586	48.8	1.6	
53	586	48.8	1.6	542	45.2	1.5	
54	606	50.5	1.7	584	48.7	1.6	
55	699	58.3	1.9	611	50.9	1.7	
56	677	56.4	1.9	613	51.1	1.7	
57	686	57.2	1.9	635	52.9	1.7	
58	814	67.8	2.2	799	66.6	2.2	
59	734	61.2	2.0	705	58.8	1.9	
60	771	64.3	2.1	741	61.8	2.0	
61	839	69.9	2.3	809	67.4	2.2	
62	880	73.3	2.4	845	70.4	2.3	
63	970	80.8	2.7	938	78.2	2.6	
平成元年	947	78.9	2.6	915	76.3	2.5	
2	1,022	85.2	2.8	1,006	83.8	2.8	3月 小布施分署救急車配備

区分 年	出 動 件 数			搬 送 人 員			摘 要
	年 間	1月平均	1日平均	年 間	1月平均	1日平均	
平成3年	1,026	85.5	2.8	1,018	84.8	2.8	3月 (株)ショーシンより高規格救急車 寄贈
4	1,061	88.4	2.9	1,018	84.8	2.8	
5	1,089	90.8	3.0	1,105	92.1	3.0	
6	1,207	100.1	3.3	1,174	97.8	3.2	
7	1,265	105.4	3.5	1,256	104.7	3.4	
8	1,296	108.0	3.6	1,290	107.5	3.5	3月 高山分署救急車配備 長野県農業共済連より寄贈
9	1,359	113.3	3.7	1,354	112.8	3.7	
10	1,411	117.6	3.9	1,418	118.2	3.9	
11	1,539	128.3	4.2	1,550	129.2	4.2	
12	1,662	138.5	4.6	1,622	135.2	4.4	
13	1,700	141.7	4.7	1,671	139.3	4.6	3月 小布施分署高規格救急車更新配備
14	1,891	157.6	5.2	1,864	155.3	5.1	
15	2,074	172.8	5.7	2,031	169.3	5.6	
16	2,275	189.6	6.2	2,212	184.3	6.1	
17	2,450	204.2	6.7	2,406	200.5	6.6	
18	2,357	196.4	6.5	2,311	192.6	6.3	3月 須坂市消防署高規格救急車を更新 配備
19	2,398	199.8	6.6	2,337	194.8	6.4	
20	2,346	195.5	6.4	2,263	188.6	6.2	
21	2,253	187.8	6.2	2,174	181.1	6.0	
22	2,461	205.1	6.7	2,368	197.3	6.5	
23	2,657	221.4	7.3	2,526	210.5	6.9	8月 高山分署高規格救急車更新配備 全国共済農業共同組合連合会長野県本部より寄贈
24	2,717	226.4	7.5	2,594	216.1	7.2	
25	2,687	223.9	7.4	2,585	215.4	7.1	
26	2,825	235.4	7.8	2,729	227.4	7.5	
27	2,718	226.5	7.5	2,632	219.3	7.2	
28	2,919	243.3	8.0	2,815	234.6	7.7	

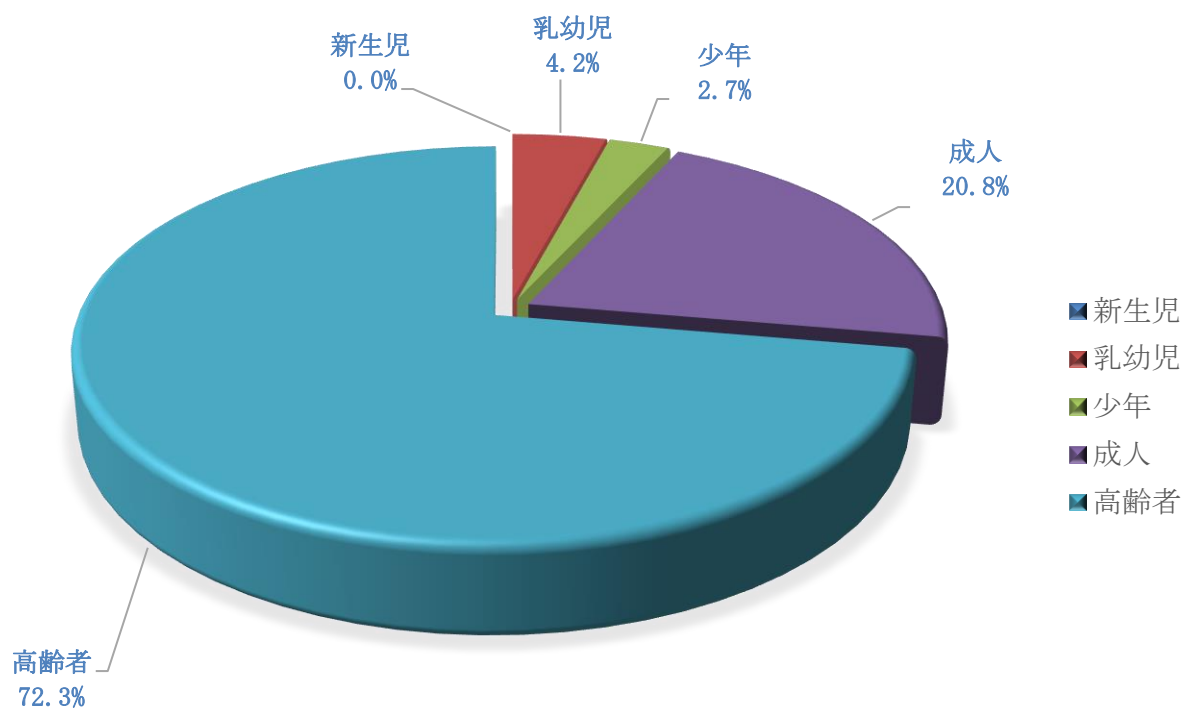
区分 年	出 動 件 数			搬 送 人 員			摘 要
	年 間	1月平均	1日平均	年 間	1月平均	1日平均	
29	2,988	249.0	8.2	2,898	241.5	7.9	12月 須坂市消防署及び小布施分署高規格救急車更新配備 11月 須坂市消防署高規格救急車更新配備
30	3,096	258.0	8.5	2,997	249.6	8.2	
令和元	3,115	259.6	8.5	3,006	250.5	8.2	
2	2,703	225.3	7.4	2,603	216.9	7.1	
3	2,984	248.6	8.2	2,890	240.8	7.9	12月 高山分署高規格救急車更新配備
4	3,278	273.2	9.0	3,175	264.6	8.7	
5	3,416	284.7	9.4	3,304	275.3	9.1	

(4) 事故別・年代別搬送人員

(2023 年)

年齢区分 事故種別	新 生 児 (生後28日未満)	乳 幼 児 (28日～6歳)	少 年 (7歳～17歳)	成 人 (18歳～64歳)	高 齢 者 (65歳以上)	計
火 災			1	3	3	7
自 然 災 害						
水 難						
交 通		4	15	110	58	187
労 働 災 害				17	8	25
運 動 競 技			8	7		15
一 般 負 傷		16	20	60	458	554
加 害			2	6	1	9
自 損 行 為				14	2	16
急 病		113	41	421	1,670	2,245
そ の 他		6	2	49	189	246
合 計		139	89	687	2,389	3,304

年代別搬送人員数



(5) 救急隊員の応急処置実施状況

(2023 年)

事故種別	対象人員	止血	固定	人工呼吸	胸骨圧迫	心肺蘇生	酸素吸入	(気管挿管除く) 気道確保	気管挿管	保温	被覆	在宅療法継続
急病	2,245	7	30	17	27	58	409	80	10	1,022	10	5
交通	187	7	89		1		9	1		60	27	
一般負傷	554	51	109	2	1	5	27	3	2	221	110	
その他	318	10	22		1	4	85	6		123	17	
計	3,304	75	250	19	30	67	530	90	12	1,426	164	5
事故種別	除細動	薬剤投与	その他	血圧測定	聴診器による聴診	血中酸素飽和度測定	心電図	静脈路確保 (心肺停止前)	静脈路確保 (心肺停止後)	血糖測定	ブドウ糖投与	合計
急病	6	44	2,239	2,148	1,008	2,179	2,015	39	57	89	12	11,511
交通		1	185	183	82	185	112	2	1			945
一般負傷		3	551	544	170	550	392		5	1		2,747
その他	1	4	314	309	123	314	263	2	4	3		1,605
計	7	52	3,289	3,184	1,383	3,228	2,782	43	67	93	12	16,808

(6) 医療機関別搬送人員

(2023 年)

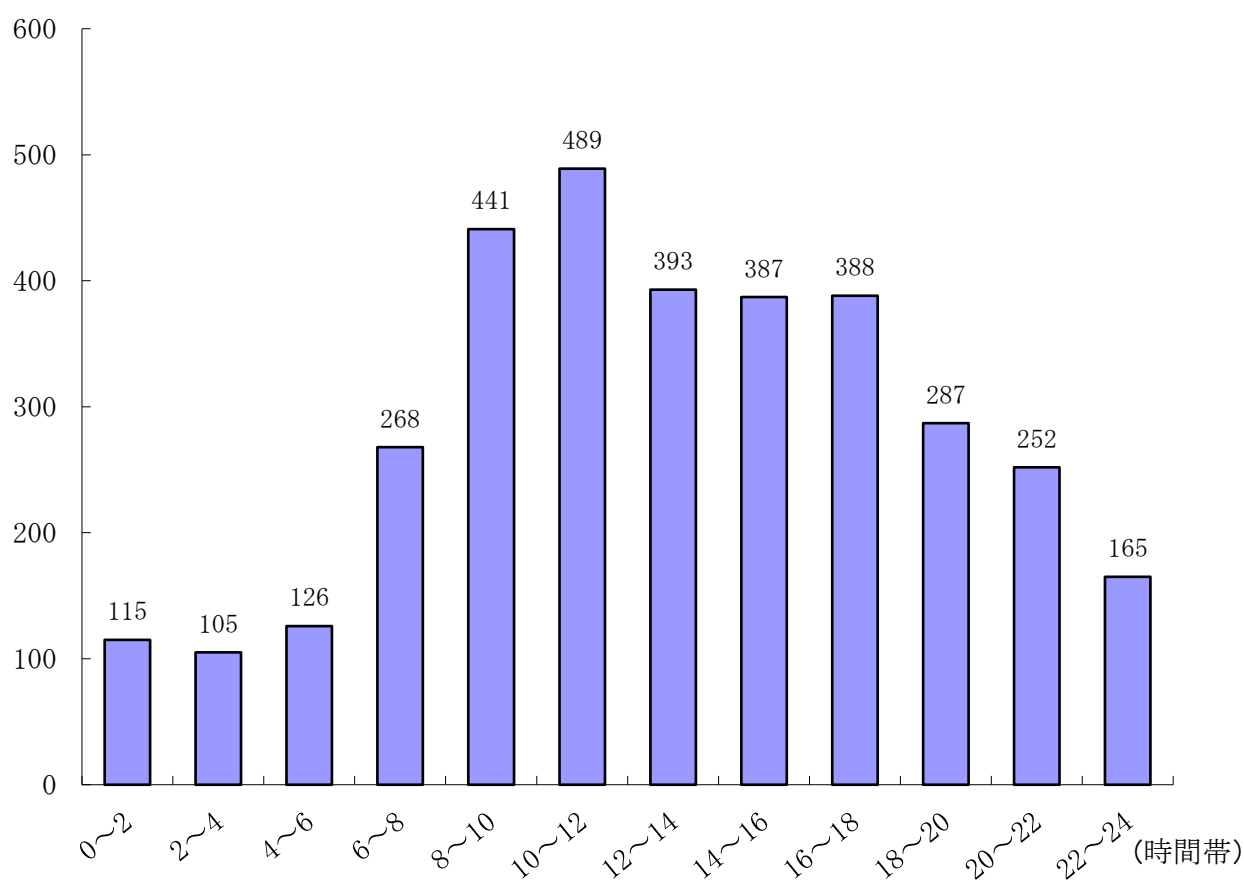
区 分	救急医療機関			その他の医療機関			その他	合 計
	管 内	管 外	計	管 内	管 外	計		
急病	1,374	864	2,238	2	5	7		2,245
交通	125	61	186		1	1		187
一般負傷	430	124	554					554
その他	84	232	316		2	2		318
計	2,013	1,281	3,294	2	8	10		3,304

(7) 時間別出動件数

(2023 年)

事故種別 区分		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
時間別	0～2				2			15	2		91	5	115
	2～4							10			93	2	105
	4～6				2	1		20	1	1	100	1	126
	6～8				8	2		41	1	4	203	9	268
	8～10				25	4	2	76	1	6	299	28	441
	10～12				21	5	4	85	1	3	313	57	489
	12～14	1			21	2	3	52		5	254	55	393
	14～16				28	6	4	79	1	3	229	37	387
	16～18				30	4	1	66		3	237	47	388
	18～20	4			20	1		52		3	192	15	287
	20～22	1			11		1	47		2	185	5	252
	22～24				7			23	2		130	3	165
計		6			175	25	15	566	9	30	2,326	264	3,416

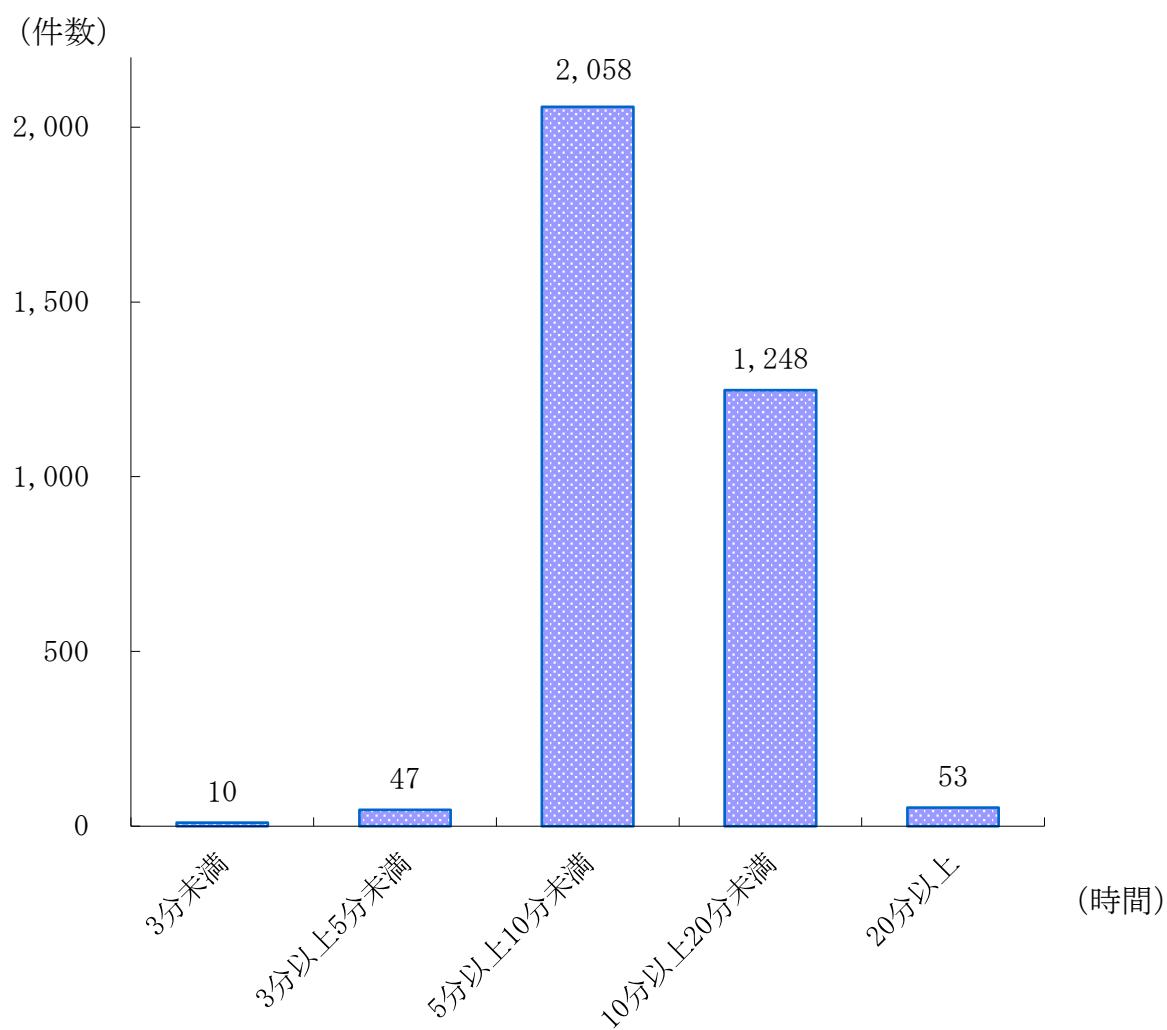
(件数)



(8) 現場到着所要時間別出動件数

(2023 年)

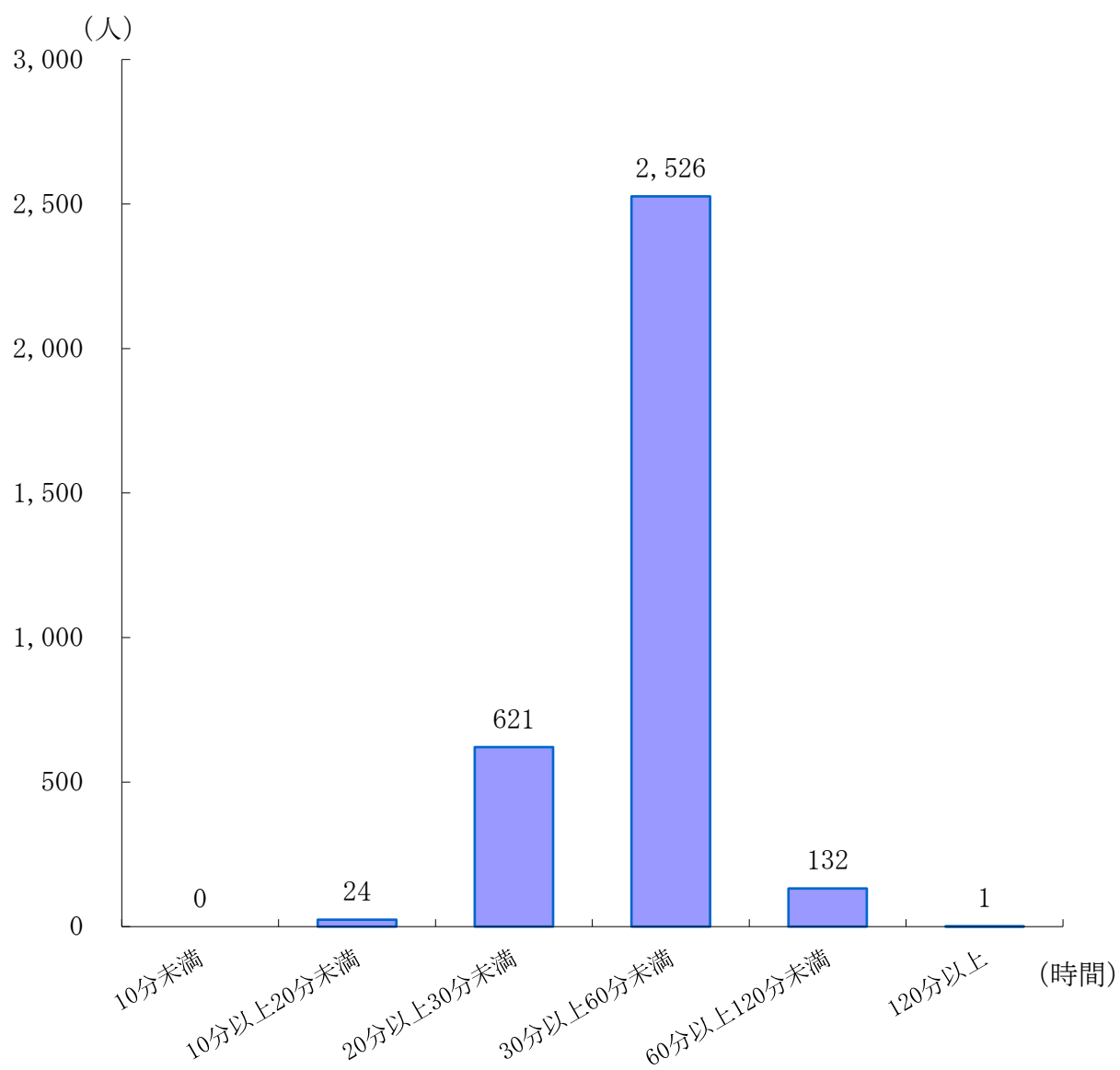
現場到着 所要時間 事故種別	3 分未満	3 分以上 5 分未満	5 分以上 10 分未満	10 分以上 20 分未満	20 分以上	計	現場到着 最短所要 時 間 (分)	現場到着 最長所要 時 間 (分)	現場到着 平均所要 時 間 (分)
急 病	9	21	1,386	887	23	2,326	0	45	9.2
交 通	0	0	81	84	10	175	5	32	10.9
一 般 負 傷	1	5	331	212	17	566	2	36	9.6
その他	0	21	260	65	3	349	3	38	7.5
合 計	10	47	2,058	1,248	53	3,416			9.2



(9) 病院収容所要時間別搬送人員

(2023 年)

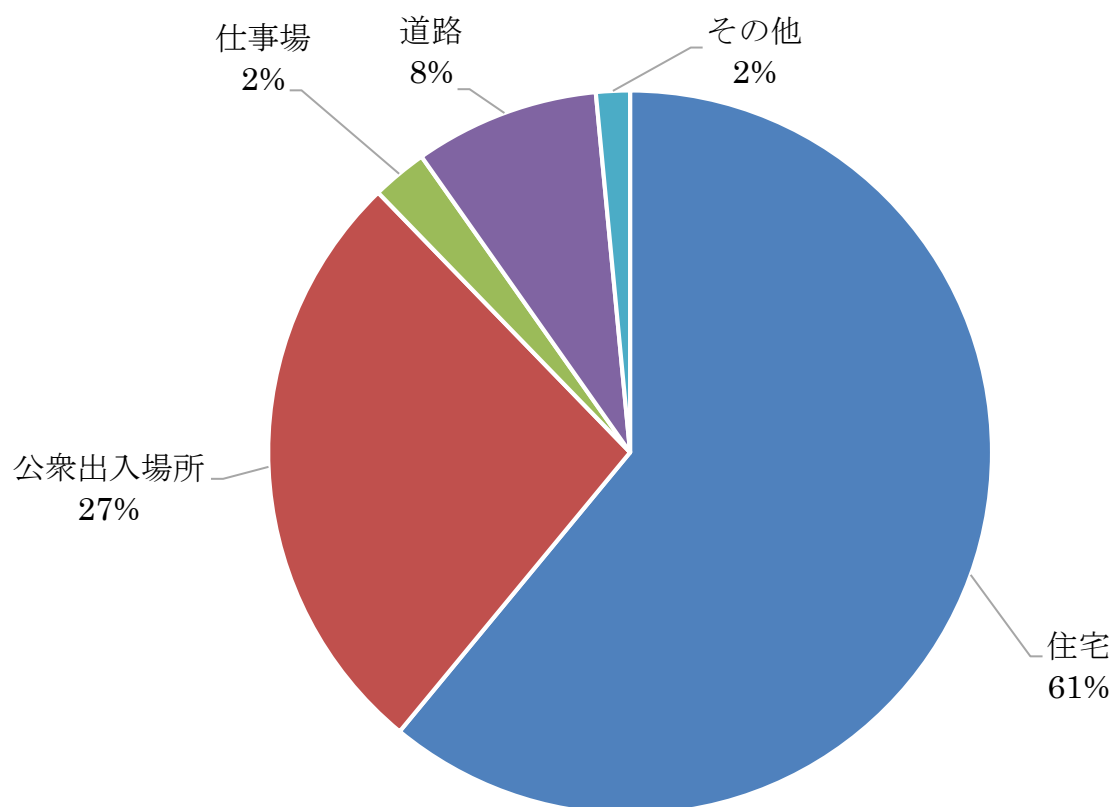
収容 所要時間 事故種別	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計	収容最短 所要時間 (分)	収容最長 所要時間 (分)	収容平均 所要時間 (分)
急病		17	407	1,739	81	1	2,245	14	132	38.2
交通			26	145	16		187	20	103	42.8
一般負傷		4	126	400	24		554	17	96	38.0
その他		3	62	242	11		318	19	95	37.8
合計		24	621	2,526	132	1	3,304			38.4



(10) 発生場所別搬送人員

(2023 年)

発生場所 区分	住 宅	公衆出入場所	仕事場	道 路	その他	計
急 病	1,642	489	52	41	21	2,245
交 通	2	2		180	3	187
一 般 負 傷	343	124	12	49	26	554
そ の 他	28	269	18	3		318
合 計	2,015	884	82	273	50	3,304

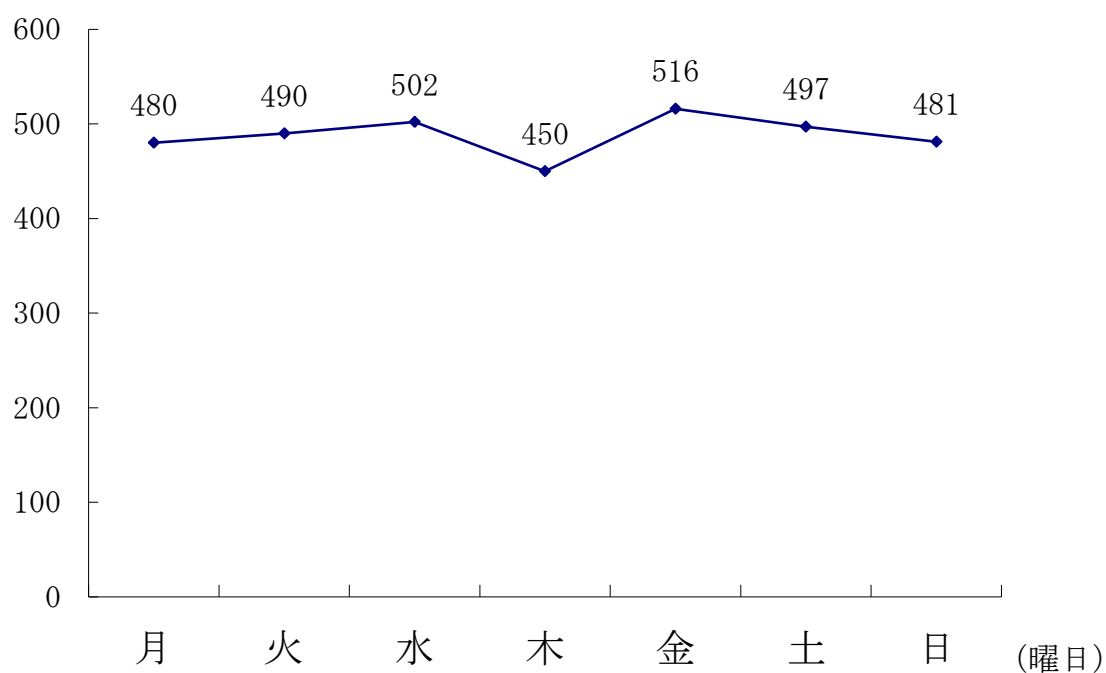


(11) 曜日別救急出動件数

(2023 年)

種別 曜日	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	計
月	1			24	3		76		5	337	34	480
火				32	1	1	64		5	346	41	490
水				30	12	2	85		4	319	50	502
木	1			26	7	1	72	2	5	304	32	450
金				20		1	78	3	3	362	49	516
土	4			16	2	4	97	4	3	325	42	497
日				27		6	94		5	333	16	481
合 計	6			175	25	15	566	9	30	2,326	264	3,416

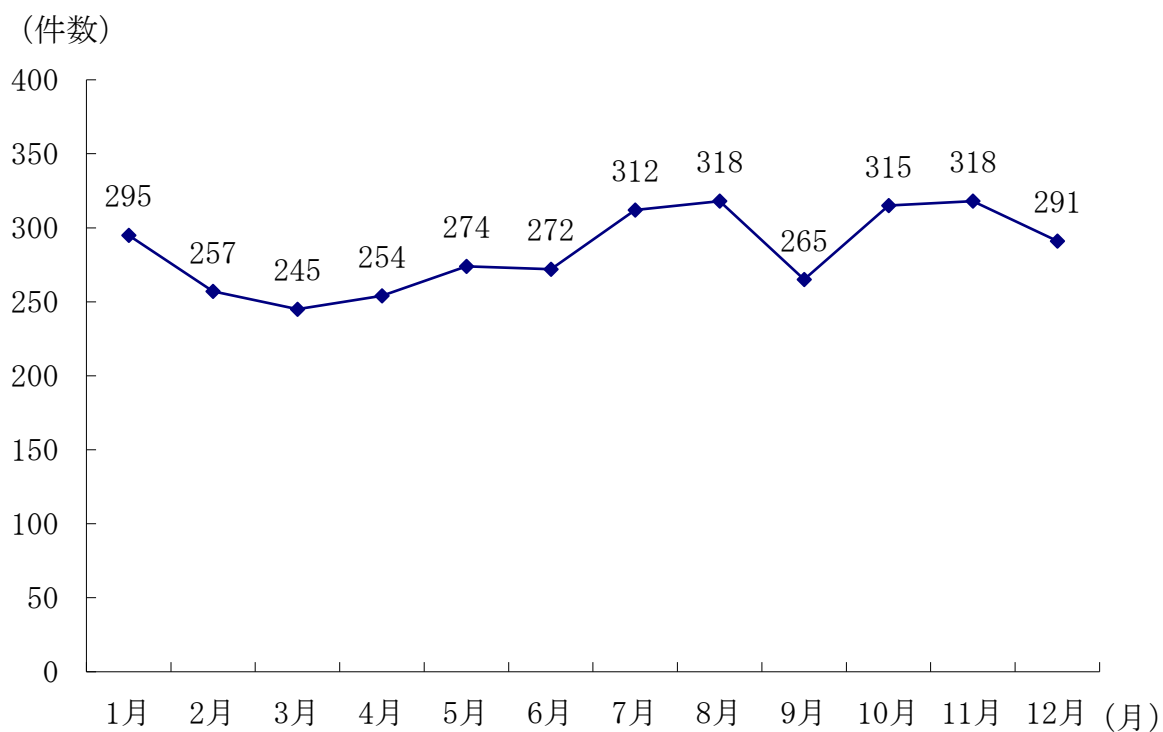
(件数)



(12) 月別救急出動件数

(2023 年)

種別 月	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	計
1 月	2			9	2		52	1	3	208	18	295
2 月				18			48		5	173	13	257
3 月				9	1		52	2		165	16	245
4 月	1			17	1	1	35		1	179	19	254
5 月				8	2	3	39	1	4	198	19	274
6 月				11	1	1	46	1	1	179	32	272
7 月	1			11	4	5	39		4	224	24	312
8 月	2			17	1	2	45		1	228	22	318
9 月				18	2	2	40	1	4	171	27	265
10 月				18	6	1	63	1	2	199	25	315
11 月				23	3		53	1	1	207	30	318
12 月				16	2		54	1	4	195	19	291
合 計	6			175	25	15	566	9	30	2,326	264	3,416



救 助 活 動 現 況

(2023 年)

種別 月	火 災	交 通	ガ ス・ 酸 欠	機 械	建 物	水 難	そ の 他	合 計
1 月		1			1	1	1	4
2 月		1	1		2			4
3 月		1		1	1		1	4
4 月		2						2
5 月					1			1
6 月		1			1			2
7 月							1	1
8 月		1			1			2
9 月		1		1				2
10 月		1			1			2
11 月		1					1	2
12 月		4			1		1	6
合 計		14	1	2	9	1	5	32

救 助 器 具 等

(2024 年 4 月 1 日現在)

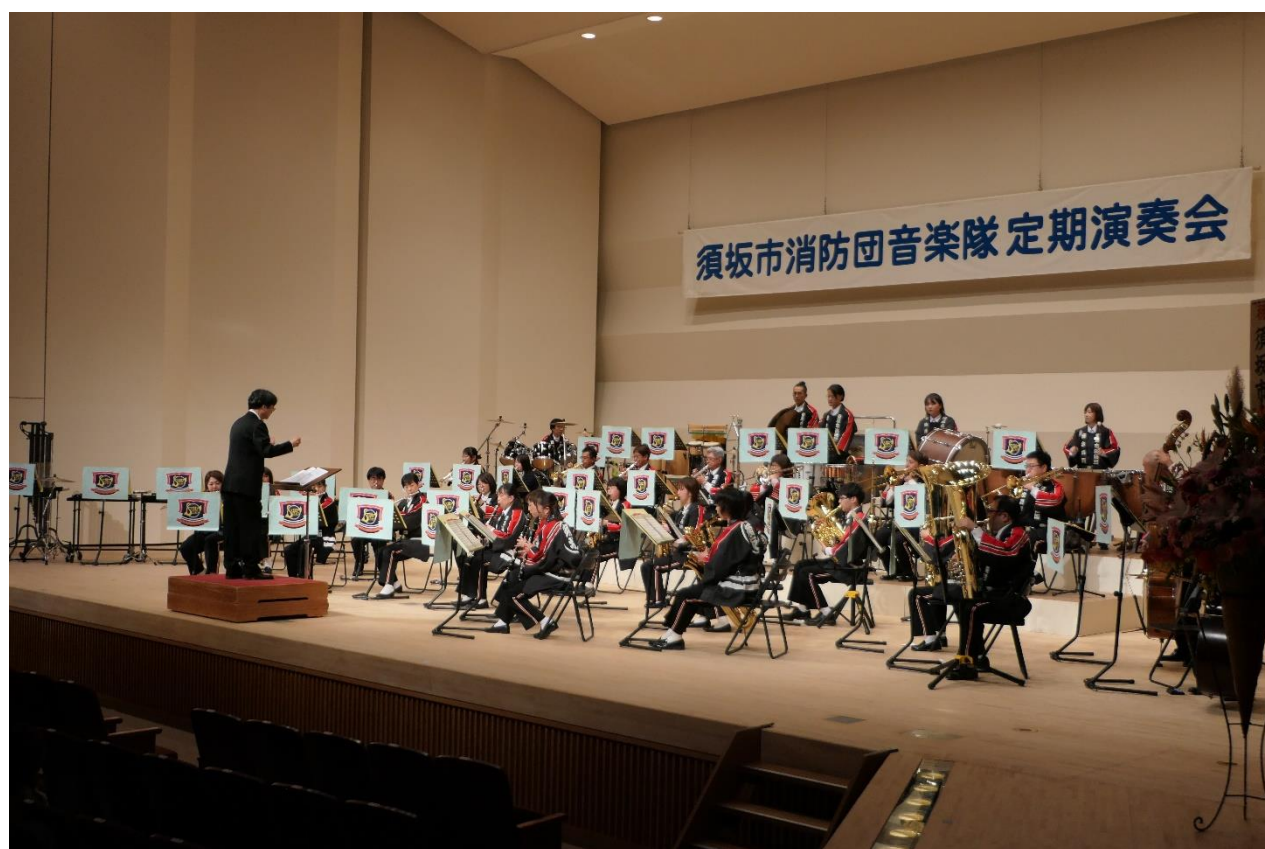
分 類	機械器具名	数量	備 考
重量物排除用器具	大型油圧スプレッダー	2	
	マット型空気ジャッキ式	1	
	可搬ウインチ	2	1.6 t × 2
	マンホール救助器具	2	ロールグリス、テラダプター
切断用器具	大型油圧切断機	2	カッター
	エンジンカッター	5	エンジン式
	チェーンソー	5	エンジン式
	ガス溶断器	2	アセチレンガス、酸素溶断器
	空気鋸	2	エアーソー
破壊用器具	削岩機	2	エンジン式 1 台、電動式 1 台
	ハンマドリル	1	電気式
呼吸保護用器具	空気呼吸器（ボンベ含む）	41	
	高圧空気充填機	1	最大 29.4Mpa
	送排風機	1	60/70 m ³ /min
水難救助用器具	救命ボート	3	アルミ製×1、ゴム製×2
	船外機	2	15 馬力・20 馬力
一般救助用器具	三連はしご	7	チタン製×4、鉄製×1、ステンレス×2
	救命索発射銃	1	空気式
	パーティカルストレッチャー	2	吊り上げ用担架
検知・測定用器具	酸素濃度測定器	7	複合ガス検知器
	有毒ガス測定器	1	検知管式

応急手当普及に関する講習会実施状況

(2023 年度)

	種類	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
須坂	一般	件数		1	13	5	7	1	2	3	2			2	36
		受講		25	269	55	121	13	26	75	19			29	632
	入門	件数													
		受講													
	普通Ⅰ	件数		1	7	3	4	3	1	1			3	1	24
		受講		14	91	43	39	43	12	3			50	21	316
	普通Ⅱ	件数											1		1
		受講											6		6
	普通Ⅲ	件数						1							1
		受講						10							10
	普及員	件数						1		1					2
		受講						8		4					12
	普及員再講習	件数		1											1
		受講		2											2
小布施	一般	件数		2	2		1				2				7
		受講		39	19		18				74				150
	普通Ⅰ	件数	1			1	1	1							4
		受講	9			4	9	3							25
	普及員再講習	件数			1										1
		受講			3										3
高山	一般	件数	1	2	1	2		1			1				8
		受講	17	27	15	28		13			18				118
	入門	件数													
		受講													
	普通Ⅰ	件数		1		4									5
		受講		2		47									49
	普及員再講習	件数													
		受講													
計	件数	2	8	24	15	13	8	3	5	5		4	3	90	
	受講	26	109	397	177	187	90	38	82	111		56	50	1323	

消 防 団



第 39 回須坂市消防団音楽隊定期演奏会

消 防 団 員 状 況

(2024 年 4 月 1 日現在)

(1) 分団別定数及び実員

区 分	定 数	実 員	団 本 部 ・ 分 団																				
			団 長	副 団 長	ラ ッ パ 長	音 楽 隊 長	分 団 長	副 ラ ッ パ 長	音 楽 副 隊 長	副 分 団 長	女 性 部 長	音 楽 部 長	分 団 部 長	分 団 ラ ッ パ 長	部 長	音 楽 副 部 長	女 性 副 部 長	音 楽 班 長	副 部 長	班 長	団 員	第 1 種 機 能 別 団 員	第 2 種 機 能 別 団 員
団 本部	5	5 (1)	1	1	1						1 (1)				1								
音楽 隊	32	29 (17)				1			1 (1)			1			1		2 (2)				23 (14)		
第 1 分団	40	33 (3)					1			1			1	1	2				2	4	16 (3)	3	2
第 2 分団	42	24					1						1	1	2				2	4	8	4	1
第 3 分団	53	44					1			1			1	1	3				3	6	24		4
第 4 分団	55	57					1			1			1	1	2				2	7	39	2	1
第 5 分団	133	82					1			1			1	1	4				4	16	44	4	6
第 6 分団	90	59 (1)					1			1				1	5				5	10	28 (1)	8	
第 7 分団	154	107 (1)					1			1			1	1	7				7	17	66 (1)	2	4
第 8 分団	88	75					1			1			1	1	4				4	11	49	1	2
第 9 分団	70	42					1			1			1	1	3				3	7	12	7	6
第10 分団	56	37 (1)					1			1			1	1	3				3	6	14 (1)	2	5
第11 分団	63	43					1			1				1	2				2	6	18	6	6
計	881	637 (24)	1	1	1	1	11		1 (1)	10	1 (1)	1	9	11	38	1		2 (2)	37	94	341 (20)	39	37

() うち女性消防団員数

(2) 団員報酬

団員 区分	階級別	職 名	報酬年額（円）	条例定数
基本	団 長	団 長	176,000	1
	副団長	副 団 長	121,100	2
	分団長	分 団 長	89,000	11
		ラ ッ パ 長		1
		音 楽 隊 長		1
	副分団長	副 分 団 長	55,000	11
		副 ラ ッ パ 長		1
		音 楽 副 隊 長		1
	部 長	部 長	42,100	37
		分 団 部 長		11
		分 団 ラ ッ パ 長		11
		音 楽 部 長		1
		女 性 部 長		1
	班 長	副 部 長	38,000	37
		音 楽 副 部 長		1
		女 性 副 部 長		1
		班 長	37,000	102
		音 楽 班 長		2
	団員	団 員	36,500	622
		音 楽 隊 員	36,500	26
機能別	団員	第 1 種機能別団員	3,000	(176) ※
		第 2 種機能別団員	5,000	
	合 計			881

※ 基本団員の条例定数 622 人の内の 176 人

(3) 勤続年数別団員数

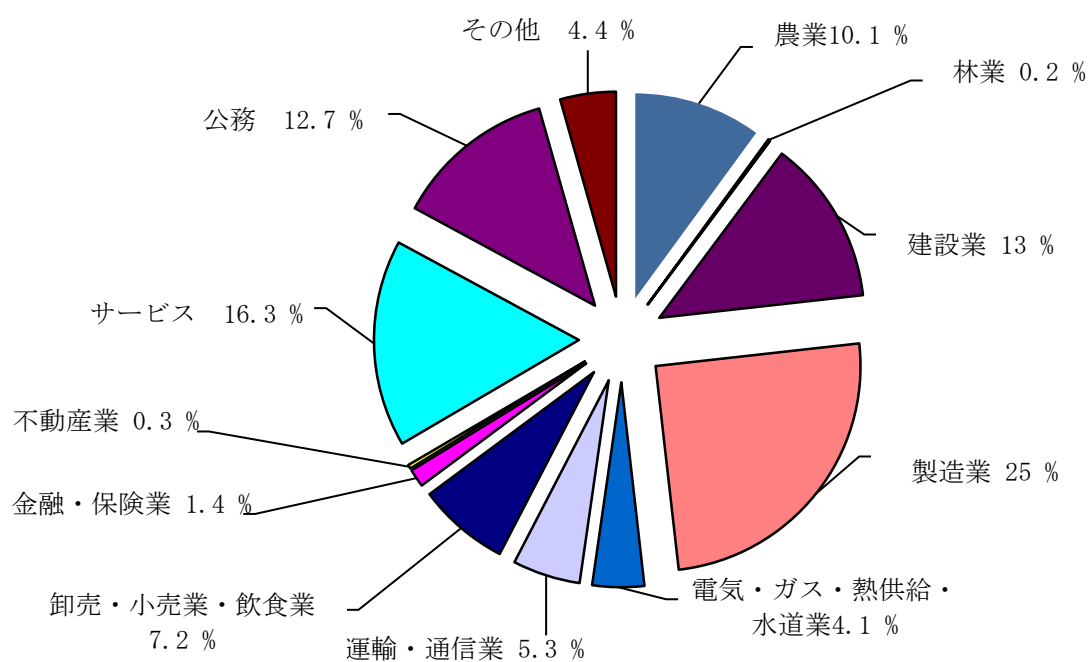
勤続年 所属	0～4年	5年～9年	10年～14年	15年～19年	20年～24年	25年～29年	30年～
団本部	5	4	5	8	6	2	4
第1分団	12	5	13	2	1		
第2分団	5	7	6	1	2	1	
第3分団	15	12	11	3	1	2	
第4分団	23	16	15	3	1		
第5分団	12	12	13	21	19	5	
第6分団	7	14	19	13	5	1	
第7分団	30	29	18	18	12	1	
第8分団	14	15	27	10	6	2	
第9分団	11	11	12	6	2		
第10分団	11	13	6	8			
第11分団	7	10	9	10	6	1	
計	152	148	154	103	61	15	4

(4) 年齢別、階級別団員数

年齢 階級	18歳～ 19歳	20歳～ 24歳	25歳～ 29歳	30歳～ 34歳	35歳～ 39歳	40歳～ 44歳	45歳～ 49歳	50歳～
団長							1	
副団長								1
分団長					3	8	1	1
副分団長				1	5	3	2	
部長				9	25	18	6	2
班長		1	11	39	30	39	10	3
団員	2	13	42	61	83	85	69	63
計	2	14	53	110	146	153	89	70

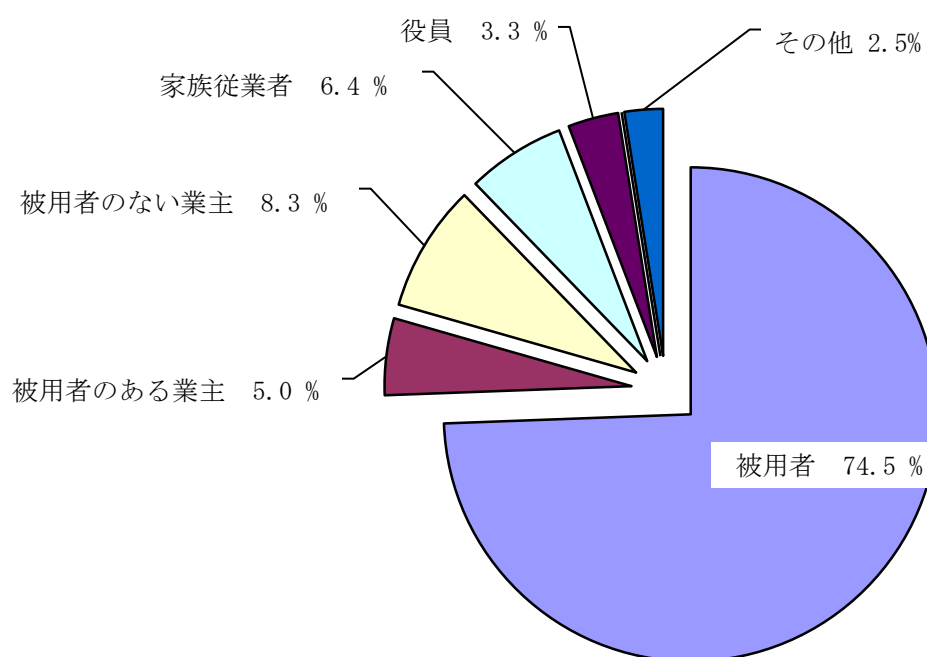
(5) 団員職業形態

区 分	農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	熱 電 ・ 給 気 ・ 水 道 業	運 輸 ・ 通 信 業	卸 売 ・ 小 売 業 ・ 飲 食 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 業	サ ー ビ ス	公 務	そ の 他	計
団員数	64	1			83	159	26	34	46	9	2	104	81	28	637
構成比 (%)	10.1	0.2			13	25	4.1	5.3	7.2	1.4	0.3	16.3	12.7	4.4	100



(6) 団員就業形態

区 分	被 用 者	自 営 業 者		家族従業者	役 員	家庭内職者	そ の 他	計
		被用者の ある業主	被用者の ない業主					
団員数	474	32	53	41	21		16	637
構成比 (%)	74.5	5	8.3	6.4	3.3		2.5	100



消 防 団 装 備

(2024 年 4 月 1 日現在)

(1) 小型動力ポンプ各分団配備状況

分 団	部	メーカー	ポンプ 積載状況	級 別	購入年	管轄区域（町名）	積載車
1	1	トーハツ	積載台車	C－1	R 5. 9	(穀町)・上町	
	2	トーハツ	積載車	B－2	H28. 10	南原町・(坂田町)	長野 880 あ 1395 H28. 10. 21
2	1	トーハツ	積載車	B－2	H29. 10	本上町・上中町・中町・ (常盤町)	長野 880 あ 1526 H29. 10. 27
	2	トーハツ	積載台車	C－1	H 2. 9	屋部町・(小山町)・ 北原町	
3	1	トーハツ	積載台車	C－1	H 2. 9	(立町)・横町・東横町	
	2	トーハツ	積載車	B－2	H29. 10	南横町・(北横町)・ 馬場町・ハイランド町・ 西町・田の神町	長野 880 あ 1527 H29. 10. 27
	3	トーハツ	積載台車	C－1	H30. 10	(八幡町)・境沢町	
4	1	トーハツ	積載台車	C－1	H 2. 9	新町・(太子町)・春木町・ 相森町	
	2	トーハツ	積載車	B－2	H30. 12	高橋町・(大谷町)・ 本郷町	長野 880 あ 1679 H30. 12. 21
5	1	トーハツ	積載車	B－2	R 3. 2	高畑町・(旭ヶ丘町)・ 北旭ヶ丘町・松川町・ 光ヶ丘ニュータウン	長野 880 あ 1953 R3. 2. 26
	2	トーハツ	積載台車	C－1	R 1. 10	(南小河原町)	
		トーハツ	積載台車	C－1	R 3. 8	(小河原町)	
		トーハツ	積載台車	C－1	H25. 9	(新田町)	
	3	トーハツ	積載台車	C－1	R 2. 2	(小島町)・豊島町	
6	4	トーハツ	積載車	B－2	H26. 3	(相之島町)・北相之島町	長野 880 あ 1071 H26. 3. 6
	1	トーハツ	積載台車	C－1	R 2. 8	(高梨町)・五閑町	
	2	ラビット	積載車	B－2	H27. 10	(塩川町)	長野 880 あ 1264 H27. 10. 19
	3	トーハツ	積載台車	C－1	H 2. 9	(沼目町)	
	4	トーハツ	積載台車	C－1	H27. 9	(八重森町)	
6	5	トーハツ	積載車	B－2	R 1. 11	(村山町)	長野 880 あ 1795 R1. 11. 13

分 団	部	メーカー	ポンプ 積載状況	級 別	購入年	管轄区域（町名）	積載車
7	1	ラビット	積載車	B－2	H27. 10	（井上町）	長野 880 あ 1265 H27. 10. 19
	2	ラビット	積載台車	B－2	H26. 6	（福島町）	
	3	トーハツ	積載台車	C－1	H29. 10	（中島町）	
	4	トーハツ	積載台車	C－1	H30. 10	（九反田町）	
	5	トーハツ	積載車	B－2	H28. 10	（幸高町）	長野 880 あ 1396 H28. 10. 21
	6	シバウラ	積載台車	B－2	H24. 7	（米持町）	
	7	トーハツ	積載台車	C－1	R 5. 9	（二睦町）	
8	1	シバウラ	積載台車	B－2	H 7. 2	（下八町）	
	2	シバウラ	積載車	B－2	H24. 7	（上八町）	長野 880 あ 822 H24. 1. 24
	3	トーハツ	積載台車	B－2	H25. 6	（野辺町）・望岳台	
	4	トーハツ	積載台車	C－1	H26. 11	（村石町）・明德町	
9	1	トーハツ	積載車	B－2	R 3. 2	仁礼町{（仙仁）・瀬之脇・ 峰の原高原}	長野 880 あ 1955 R3. 2. 26
	1	トーハツ	積載車	B－2	R 3. 11	仁礼町{仙仁・瀬之脇・ （峰の原高原）}	長野 800 あ 2046 R3. 11. 22
	2	トーハツ	積載台車	C－1	R 2. 8	仁礼町{常盤・（中村）・ 新田}	
	3	トーハツ	積載車	B－2	H30. 12	仁礼町（関谷）	長野 880 あ 1680 H30. 12. 21
	3	トーハツ	積載台車	C－1	R 4. 8	仁礼町（栃倉）	
10	1	ラビット	積載車	B－2	H20. 1	（亀倉町）・夏端町	長野 880 あ 351 H20. 1. 25
	2	シバウラ	積載車	B－2	H 4. 5	（米子町・上）	長野 880 あ 609 H22. 3. 2
	2	トーハツ	積載台車	C－1	R 1. 10	（米子町・下）	
	3	トーハツ	積載台車	C－1	H28. 10	（塩野町）	
11	1	トーハツ	積載台車	C－1	R 3. 8	（大日向町）	
	1	トーハツ	積載車	B－2	R 1. 11	豊丘町（中村）・明光寺・ 洞入	長野 880 あ 1796 R1. 11. 13
	2	トーハツ	積載台車	C－1	H 2. 9	豊丘上町（間瀬口）	
	2	シバウラ	積載車	B－2	H22. 11	豊丘上町（新田）・金田・ 中灰野	長野 880 あ 684 H22. 11. 19
	2	トーハツ	積載台車	C－1	R 4. 8	豊丘上町（上原）	

（注） （ ）は器具置場場所

(2) 小型動力ポンプ付積載車配備状況

配置分団	メーカー	排気量(cc)	型 式	購入年月
1	ダ イ ハ ツ	660	E B D－S 331W	平成28年10月
2	ダ イ ハ ツ	660	E B D－S 331W	平成29年10月
3	ダ イ ハ ツ	660	E B D－S 331W	平成29年10月
4	ダ イ ハ ツ	660	E B D－S 331W	平成30年12月
5	ダ イ ハ ツ	660	3 B D－S 331W	令和 3 年 2 月
	ダ イ ハ ツ	660	E B D－S 331W	平成26年 3 月
6	ダ イ ハ ツ	660	E B D－S 331W	平成27年10月
	ダ イ ハ ツ	660	E B D－S 331W	令和元年11月
7	ダ イ ハ ツ	660	E B D－S 331W	平成27年10月
	ダ イ ハ ツ	660	E B D－S 331W	平成28年10月
8	ス バ ル	660	E B D－T V 2	平成24年 1 月
9	ダ イ ハ ツ	660	3 B D－S 331W	令和 3 年 2 月
	ダ イ ハ ツ	660	3 B D－S 331W	令和 3 年11月
	ダ イ ハ ツ	660	E B D－S 331W	平成30年12月
10	ス バ ル	660	L E－T T 2	平成20年 1 月
	ス バ ル	660	E B D－T T 2	平成22年 3 月
11	ダ イ ハ ツ	660	E B D－S 331W	令和元年11月
	三 菱	660	G B D－U 62V (改)	平成22年11月

(3) 発電機付投光器配備状況

(千代田ポンプ機械 レスキューライト R D－600M・900M、コードリール
防雨・全天候型、G E－10K、ガソリン携行缶 Y A Z A W A T G－20) 18 式
小型動力ポンプ付積載車配置分団に 1 式ずつ配備

(4) デジタルランシーバー配備状況

車載型 (アイコム D P R 1) 小型動力ポンプ付積載車 18 台に積載
携帯型 (アイコム D P R 6) 団本部 5 台・分団 11 台・消防本部 2 台配備
携帯型 (アイコム D P R 7) 団本部 2 台・分団 11 台

(5) 救助ボート配備状況

(アキレス F R D－104 型 付属品付) 3 式 第 5・6・7 分団に 1 式ずつ配備

(6) 消防団拠点資機材・消防ポンプ付き軽自動車 (総務省消防庁から無償貸与)

発電機付灯光器一式、簡易救急セット、A E D、訓練用 A E D、救命ボート一式、
船外機一式、電動削岩機一式、発電機三式、エンジンカッター二式、チェンソー二式、
大型エアータント一式、暖房機、簡易ベッド五式、寝袋五式、資機材保管備蓄倉庫
消防ポンプ付き軽自動車 1 台 (第 5 分団 4 部配備)

機 械 器 具 置 場 ・ 詰 所 現 況

(2024 年 4 月 1 日現在)

分 団	部	用 途		構 造			建 築 面 積 (㎡)	建設年月日	管轄区域（町名） (◇＝施設の設置 場所)
		置 場	詰 所	材質	屋根	壁			
1	1	○	○	木 造	瓦	モルタル	54.28	S23.10. (H12.8.12)	◇穀町 上町
	2	○	○	木 造	瓦	モルタル	33.00	S51.5.20	◇坂田町 南原町
2	1	○	○	鉄骨造	鋼 板	鋼 板	25.11	R5.1.1 (既存建物 詰所使用)	◇常盤町 上中町 中町 本上町
	2	○	○	木 造	長 尺	モルタル	28.05	S57.10.	◇小山町 北原町 屋部町
3	1	○	○	木 造	瓦	モルタル	22.68	H13.11.1	◇立町 横町 東横 町
	2	○	○	木 造 (一部鉄骨)	瓦	大 壁	19.80	H7.3.24	◇北横町 南横町 馬場町 西町 田の神町 須坂ハイランド町
	3	○	○	木 造	鋼 板	サイディング	59.62	H29.3.21	◇八幡町 境沢町
4	1	○	○	木 造	瓦	大 壁	33.05	H8.12.25	相森町 春木町 ◇太子町 新町
	2	○		鉄骨造	鋼 板	鋼 板	25.11	H31.2.8	本郷町 高橋町 ◇大谷町
5	1	○	○	木 造	長 尺	A L C	93.58	H11.9.30	◇旭ヶ丘町 松川町 北旭ヶ丘町 光ヶ丘ニュータウン 高畑町
	2	○		木 造	瓦	真 壁	12.37	S29.4.1	◇南小河原町
		○		鉄骨造	角 波	サイディング	9.90	S63.11.15	◇小河原町
		○		木 造	長 尺	モルタル	9.90	S44.12.15	◇新田町
	3	○		木 造	長 尺	鉄 板	13.20	S56.3.31	◇小島町 豊島町
6	4	○		鉄骨造	鋼 板	鋼 板	25.86	H19.11.15	◇相之島町 北相之島町
	1	○		鉄骨造	角 波	サイディング	9.72	H5.2.7	◇高梨町 五閑町
	2	○		鉄骨造	鋼 板	鋼 板	25.11	R3.9.13	◇塩川町
	3	○	○	木 造	鉄 板	モルタル	19.80	S35.11.26	◇沼目町
	4	○	○	木 造	長 尺	真 壁	19.80	S41.12.25	◇八重森町
6	5	○		鉄骨増	角 波	サイディング	9.72	H4.12.28	◇村山町

分 団	部	用 途		構 造			建 築 面 積 (㎡)	建設年月日	管轄区域（町名） (◇＝施設の設置 場所)
		置 場	詰 所	材質	屋根	壁			
7	1	○	○	木 造	長 尺	真 壁	19.80	S45. 8. 10 (H27. 6. 11)	◇井上町
	2	○		木 造	波 板	波 板	9.90	S39. 6. 30	◇福島町
	3	○	○	木 造	角 波	サイディング	19.80	S57. 12. 22	◇中島町
	4	○		鉄骨造	長 尺	鉄 板	16.50	S57. 3. 30	◇九反田町
	5	○		鉄骨造	鋼 板	鋼 板	25.86	H18. 1. 23	◇幸高町
	6	○		鉄骨造	鋼 板	鋼 板	25.66	H11. 9. 21	◇米持町
	7	○		鉄骨造	鋼 板	鋼 板	15.20	H21. 11. 13	◇二睦町
8	1	○	○	木 造	長 尺	真 壁	19.80	S42. 10. 17	◇下八町
	2	○		鉄骨造	折 板	サイディング	9.90	S63. 11. 15	◇上八町
	3	○	○	木 造	鉄 板	大 壁	21.20	S22. 3. 28 (R1. 7. 23)	◇野辺町 望岳台
	4	○	○	木 造	折 板	モルタル	27.39	S55. 2. 28	◇村石町 明德町
9	1	○		鉄骨造	折 板	鉄 板	16.50	S48. 8	◇仁礼町（◇仙仁、 瀬之脇）
		○		鉄骨造	鋼 板	鋼 板	25.66	H10. 7. 31	◇峰の原高原
	2	○		鉄骨造	折 板	鉄 板	16.50	S48. 9. 14	◇仁礼町（◇中村、 常盤、新田）
	3	○		鉄骨造	折 板	鉄 板	16.50	S48. 8	◇仁礼町（関谷）
		○		鉄骨造	折 板	鉄 板	16.50	S48. 8	◇仁礼町（栃倉）
10	1	○		鉄骨造	鋼 板	鋼 板	25.66	H15. 10. 30	◇亀倉町 夏端町
	2	○	○	木 造	鉄 板	サイディング	20.62	H 1. 4. 1	◇米子町（上米子）
	2-2	○		鉄骨造	鋼 板	鋼 板	15.20	H26. 10. 14	◇米子町（下米子）
	3	○		鉄骨造	鋼 板	鋼 板	25.66	H14. 12. 11	◇塩野町
11	1	○		鉄骨造	角 波	サイディング	9.90	S60. 11. 25	◇大日向町
	1-2	○		鉄骨造	角 波	サイディング	9.90	S59. 8. 13	◇豊丘町 (◇中村、明光寺、中 田、豊里、豊中、和 合)
	2	○		鉄骨造	折 板	折 板	16.50	H 3. 3. 30	◇豊丘上町 (◇間瀬口、下原)
	2-2	○		木 造	鉄 板	サイディング	9.90	H 3. 3. 30	◇豊丘上町 (◇新田、金田)
	2-3	○		ﾌﾞﾛｯｸ	鉄 板	ﾌﾞﾛｯｸ	9.90	S48. 8	◇豊丘上町（上原）

警 鐘 楼 現 況

(2024 年 4 月 1 日現在)

分 団	部	区	構 造	半鐘 打鳴	分 団	部	区		構 造	半鐘 打鳴
1	1	穀町	鉄骨三角柱	○	7	5	幸高町		鉄骨三角柱	
	2	坂田町	鉄骨四角柱	○		6	米持町		鉄製ポール	
2	1	常盤町	鉄製ポール			7	二睦町		鉄製ポール	
	2	小山町	鉄骨四角柱	○	8	1	下八町		鉄骨三角柱	○
3	2	北横町	鉄骨四角柱			2	上八町		鉄骨四角柱	○
	3	八幡町	鉄製ポール			3	野辺町		鉄骨四角柱	○
4	1	太子町	鉄骨四角柱	○		4	村石町		鉄骨三角柱	○
	2	大谷町	鉄製ポール		9	1	仁 礼 町	仙仁	鉄骨四角柱	○
5	1	旭ヶ丘町	鉄製ポール			2		西原	鉄骨四角柱	○
	2	南小河原町	鉄製三角柱	○				浅間塚	鉄骨三角柱	○
		小河原町	鉄骨四角柱	○				中村	鉄骨四角柱	○
		新田町	鉄骨三角柱	○		3		関谷	鉄骨四角柱	○
	3	小島町	鉄骨三角柱	○				栃倉	鉄骨四角柱	○
	6	4	相之島町	鉄骨三角柱	○	10	1	亀倉町		鉄製ポール
1		高梨町	鉄骨三角柱	○			鉄骨四角柱	○		
2	塩川町	鉄骨四角柱		2	米 子 町		上	鉄骨四角柱	○	
	3	沼目町	鉄骨三角柱				○	中村	鉄骨四角柱	○
	4	八重森町	鉄骨三角柱				○	下	鉄製ポール	
7	5	村山町	鉄骨四角柱	○	3	塩野町		鉄製ポール		
	7	1	井上町	鉄骨三角柱	○	11	1	大日向町		鉄骨四角柱
2		福島町	鉄骨四角柱	○	豊丘町			鉄骨四角柱	○	
3		中島町	鉄骨三角柱	○	2		豊丘 上町	新田	鉄骨三角柱	○
4		九反田町	鉄骨三角柱	○				間瀬口	鉄骨四角柱	○

※半鐘打鳴とは地上で半鐘を打鳴できる装置をいう。

消 防 団 員 活 動

(2023 年度)

(1) 県消防学校入校

女性消防隊科	1 人	警防科	3 人
ラッパ科	3 人	訓練礼式科	3 人
幹部科（指揮）	5 人		

(2) 団員出動

	火 災	風水害	訓 練	指導・広報	特別警戒
件 数	14	1	18	4	21
人 員	223	5	757	438	1,898

	警防調査	捜索・遭難	その他	計
件 数	1	0		59
人 員	10	0		3,331

(3) 団員訓練

種 目	実施回数	種 目	実施回数
幹部講習	1	礼式及び規律訓練	1
分団放水訓練	各分団	非常招集訓練	各分団
総合演習	3	新入団員訓練	各分団
重要水防箇所現地調査	1	音楽隊、ラッパ訓練	通年

消 防 団 音 楽 隊

(1) 沿革

昭和 60 年 7 月、消防団員の士気高揚と若年層の消防団活動への参加及び地域住民に対する消防団 P R を行うため、団員 28 人により発足。平成 2 年より女性団員が入団、現在 28 人（音楽隊専従団員）が活動中。

(2) 隊編成

隊長 1、副隊長 1、部長 1、副部長 1、班長 2、隊員 23、合計 29 人

(3) 楽器編成

楽 器 名	数 量	楽 器 名	数 量
ピッコロ	2	スネアドラム	3
フルート	4	バスドラム	2
クラリネット	3	クウォード	1
バスクラリネット	1	ドラムセット	1
ソプラノサックス	1	グロッケン	1
アルトサックス	2	シロフォン	1
テナーサックス	2	ビブラフォン	1
バリトンサックス	1	マリンバ	1
ホルン	3	シンバル	2
トランペット	4	ティンパニ（S）	1
コルネット	1	ティンパニ（M）	1
トロンボーン	3	ティンパニ（L）	1
ユーホニウム	3	ティンパニ（LL）	1
チューバ	2	オーケストラチャイム	1
スーザホン	2	ドラ	1
		その他小物楽器など	25

歴 代 須 坂 市 消 防 団 長

	氏 名	在 職 期 間
1	牧 茂 助	昭和21年 1 月 14 日～昭和31年 8 月 22 日
2	土 屋 嘉 久	昭和31年 8 月 23 日～昭和35年 8 月 23 日
3	田 中 太 郎	昭和35年 8 月 24 日～昭和44年 4 月 30 日
4	関 野 安 永	昭和44年 5 月 1 日～昭和46年 5 月 31 日
5	岩 田 克 司	昭和46年 6 月 1 日～昭和51年 2 月 7 日
6	上 野 昭 夫	昭和51年 2 月 8 日～昭和55年 3 月 31 日
7	鶴 田 哲 章	昭和55年 4 月 1 日～昭和59年 3 月 31 日
8	和 久 井 洋 右	昭和59年 4 月 1 日～昭和63年 3 月 31 日
9	牧 寛 二	昭和63年 4 月 1 日～平成 4 年 3 月 31 日
10	中 島 将 之	平成 4 年 4 月 1 日～平成 8 年 3 月 31 日
11	永 田 盛 雄	平成 8 年 4 月 1 日～平成12年 3 月 31 日
12	茂 野 光 政	平成12年 4 月 1 日～平成16年 3 月 31 日
13	塩 崎 貞 夫	平成16年 4 月 1 日～平成20年 3 月 31 日
14	依 田 浩 明	平成20年 4 月 1 日～平成26年 3 月 31 日
15	成 田 統	平成26年 4 月 1 日～平成30年 3 月 31 日
16	田 中 敏 勝	平成30年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
17	中 村 公 彦	令和 2 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日
18	関 延 之	令和 6 年 4 月 1 日～現在

消 防 年 報

2024 年版

須 坂 市 消 防 本 部

長野県須坂市大字小山1306番地

TEL (026) 245 - 0119 (代)

FAX (026) 248 - 4460

E-mail:s-shobo@city.suzaka.nagano.jp

LGWAN : s-shobo@city.suzaka.lg.jp
